LAZ-600

LIXIL

取付説明書

玄関ドア用電動オープナーシステム　DOAC（ドアック）

このたびは、当社製品をお買いあげいただきましてまことにありがとうございます。
製品を安全に正しく施工していただき、施主様等の危害や損害を未然に防止するためにも、各種表示記号の内容を良く理解したうえで、本書の内容および指示にしたがってください。

［フル電動］

［オートアシスト］

■本書の見かた

この取付説明書では、以下のような記号、記載、アイコンを使用しています。

安全に関する記号と説明

警 告　・取扱いを誤った場合に使用者が死亡または重傷を負うおそれのある内容を示します。

注 意　・取扱いを誤った場合に、使用者が中・軽傷を負うおそれのある内容、または物的損害のおそれがある内容を示します。

情報に関する記号と説明

お願い
・取付手順で、特に注意して作業をしていただきたいことを示しています。
・守っていただかないと組付けができない内容、または製品全体に後々不具合が発生するおそれのある内容を示しています。

補 足　・説明の内容で知っておくと便利なことを示しています。

締結部品の種類は「**梱包明細表**」を参照してください。

INDEX ※取付け工事の前に、必ず本製品が取付け可能な玄関ドアであることを確認してください。

取付け可否の確認 …… 2
施工上のご注意 …… 4
梱包明細表 …… 4
1 各部の名称 …… 6
2 コンセントの設置 …… 8
3 電動サムターンの取付け …… 9
4 電動ドアオープナーの取付け …… 12
5 コントローラーの取付け …… 15
6 電動サムターンの設定 …… 17
7 初期登録 …… 18
8 ラッチプレートの取付け …… 21
9 動作確認 …… 22
10 電動ドアオープナーカバーの取付け …… 23
11 ディップスイッチ位置の再確認 …… 24
12 電池カバーの取付け …… 24
13 電池交換の方法 …… 24

取付け可否の確認

START　A:取付けスペースの確認(P.2)

いいえ → 本製品の取付けはできません。

はい ↓

LIXIL/TOSTEM製の互換性のある玄関ドアですか？※

はい → 本製品を取付けることができます。

いいえ ↓

B:電動サムターンとの互換性(P.3)

いいえ → 現在の玄関ドアのままでは取付けできません。※LIXIL製の互換性のある玄関ドアへ交換することで本製品を使用できます。

はい ↓

C:電動ドアオープナーとの互換性(P.3)

いいえ → 現在の玄関ドアのままでは取付けできません。※LIXIL製の互換性のある玄関ドアへ交換することで本製品を使用できます。

はい ↓

本製品を取付けることができます。

注 意

- ●マンションなどの防火ドアに対して取付けないでください。
- ●65kg以上ある玄関ドアには使用することができません。
- ●玄関ドアの厚さが44mm以上ある場合には取付けできません。

※LIXIL/TOSTEM製の互換性のある玄関ドア

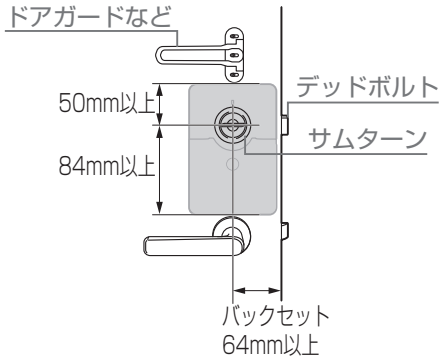
DOAC公式サイトまたは左図QRコードから互換性のある玄関ドア一覧を確認してください。

＜DOAC公式サイト(よくあるご質問)＞
https://www.lixil.co.jp/lineup/entrance/doac/support/

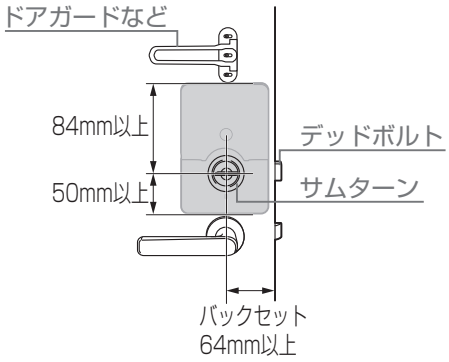
A：取付けスペースの確認

1:既設のサムターンが以下の寸法に収まることを確認してください。※2ロックの場合は上下両方を確認。

▼ 上向きの場合 ▼

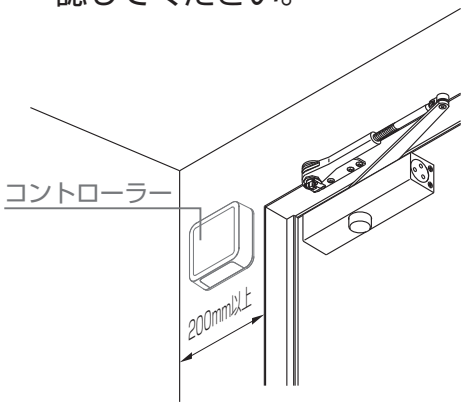


▼ 下向きの場合 ▼

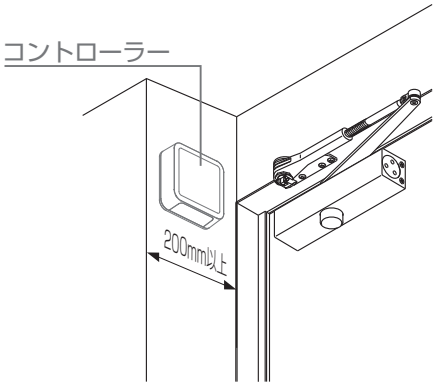


※電動サムターンを上向きで取付けできない場合に限り、下向きに取付けてください。

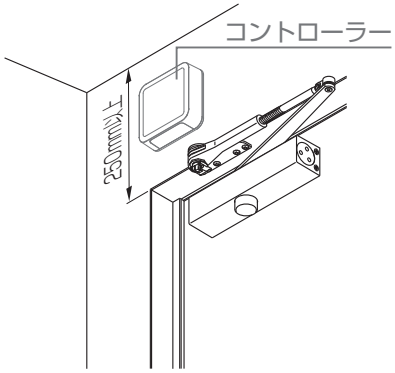
2:玄関ドアの吊元側内観に①②③いずれかのコントローラー取付けスペースが確保できることを確認してください。



①ドアと平行に200mm以上



②ドアと直角に200mm以上

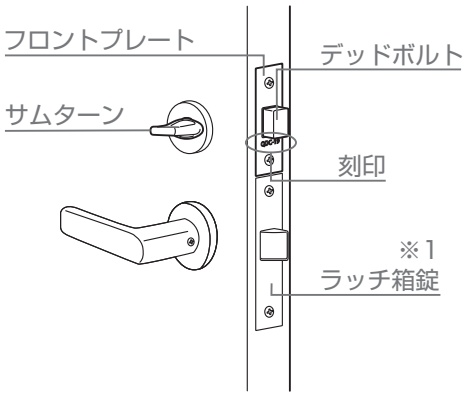


③ドアの上側に250mm以上

取付け可否の確認

B：電動サムターンとの互換性　※下記の各錠メーカー品番に合わせて、使用する電動サムターンセットを選んでください。

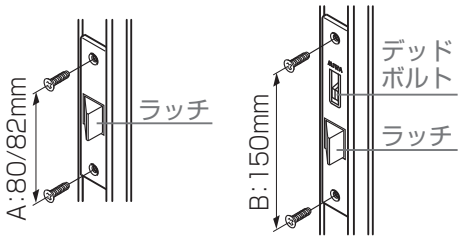
①錠のデッドボルト付きフロントプレートの刻印が以下の一覧に記載されていることを確認。※2ロックの場合は上下両方を確認。



MIWA (U-shin)	08FE･08FESP･08LEF･FE･FESP･GAA･GAF･LE･LEF･LSP･LY-01(Q-DA343)･PESP･QDA345･QDB835･QDB850･QDB851･QDC17,19･QDD･QDJ695･QDJ696･QDK668･QDN608･SWLSP･TE･TESP
特注 MIWA (クラビス)	6DHV･6LHVS･6MHVS･13LA･CD･CDS･CDS-1･CDSK･DA･DA2F･DAF･DH･DV･DVF･LA･LAF･LAG･LAMA･LASP･LC･LCS･LCSK･LHS･LV･LVF･MA･MHS･MV･PA･PASP･WLA
GOAL	SK･TXK(QDD866)･TXKJ･TLK･TGG(QDA344)

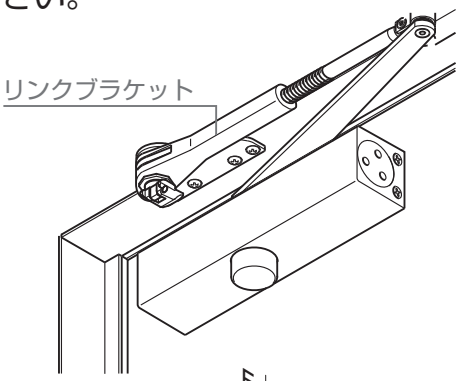
※1：ラッチ箱状の品番は確認不要です。

②ラッチ箱錠の取付ピッチが右図AまたはBの寸法に沿っているかチェックしてください。

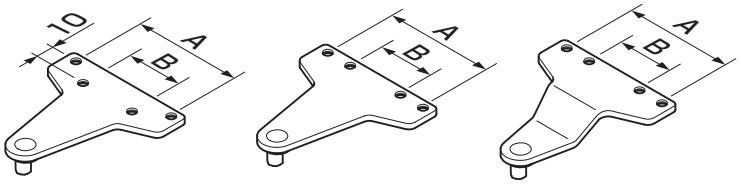


C：電動ドアオープナーとの互換性

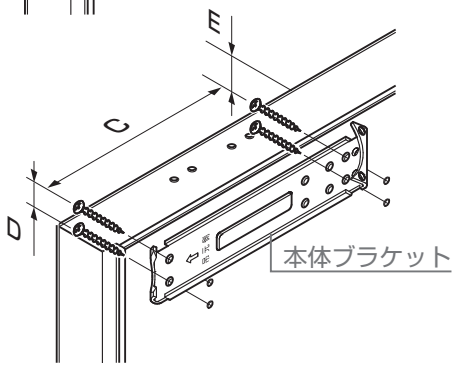
1：既設のドアクローザーの取付ピッチを確認して以下①②の寸法に沿っているかチェックしてください。



①リンクブラケットの取付ピッチがAまたはBの寸法になっている。

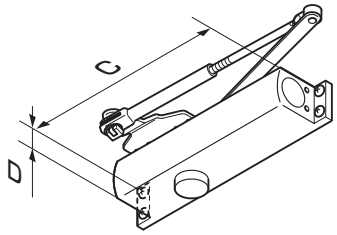


A＝70mmまたは76mm
B＝35mmまたは40mm



▲ ネジが内側の場合 ▲

②本体ブラケットの取付ピッチがC、D、Eの寸法になっている。

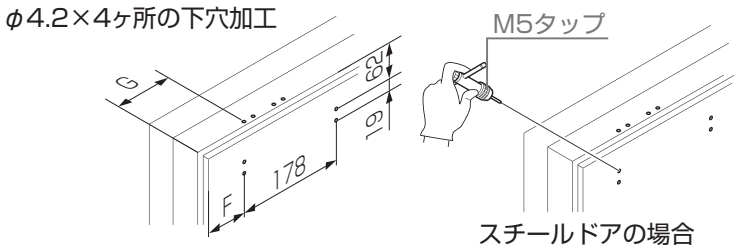


C＝178mmまたは190mm
D＝19mm
E＝40mm以上

▲ ネジが外側の場合 ▲

お願い

●本体ブラケットの取付ピッチC、D、Eが合わない場合、右図の様にφ4.2の下穴をあけ直すことができれば取付け可能です。スチール製のドアには、M5タップ加工をして取付けてください。
●F－Gの寸法が－5mm～40mmになるように下穴の位置を決めてください。



※玄関ドアへ下穴加工をする前に、各メーカーの製品図面を確認の上で問題が無いことを把握してから作業してください。

必ずA、B、Cの全てに問題が無いことを確認してから、製品の取付け作業を行なってください。

施工上のご注意

注 意

●玄関ドアを開閉する軌跡上やその周辺に障害物が無いことを確認してください。風で勢いよく玄関ドアが開いてしまった場合、ぶつかって思わぬ事故につながる恐れがあります。

お願い

●玄関ドアに金属の飾りやプランター等が取付けいていると重量オーバーで動作をしないことがあります。
（玄関ドア規定重量：65kg以下）
●事前に玄関ドア本体のガタツキや開閉不良が無いことを確認してください。玄関ドアの開閉に支障があると本製品を取付けても正常に動作しないことがあります。
●リモコン登録時は使用するリモコンを全数準備して一括で登録してください。不正防止のため１個だけを追加で登録することはできません。他のリモコン登録情報が抹消されます。
●本体ブラケットの下穴を誤って破壊してしまった場合は水平方向に15mmズラして、下穴を加工し直してください。必要に応じてタップ加工を行なってください。
●取外したサムターンやドアクローザーは必ずお施主様へお渡しください。

梱包明細表

【1】電動ドアオープナーセット

名　称	略　図	員　数
本体		1
本体カバー		1
リングブラケットA ※1		1
交換用リンクブラケットB ※1		1
交換用リンクブラケットC ※1		1
ACアダプター（1.2m）		1
L型プラグ		1
延長ケーブル（0.6m） ※2		1
カールコード		1
ホルダー ※2		1
φ3×12ナベタッピンネジ1種		4
M5用スパナ		1
M5×10アプセットボルト（平座金付）		1

【1】電動ドアオープナーセット

名　称		略　図	員　数
φ5×25 特サラタッピンネジ（D=6）1種			4
M5×16 丸サラ小ネジ			4
予備ネジ	M5×12 サラ小ネジ ※本体ブラケット取付用		4
予備ネジ	M5×12 サラ小ネジ（サラ用平座金付） ※リンクブラケット連結用		1

※1 取付ける玄関ドアに合わせて、いずれかの部品を使用してください。
※2 コンセントを増設せずに仮設する場合にご使用ください。

【2】部品セット

名　称	略　図	員　数	
		2ロック用	1ロック用
リチウム乾電池（単3形）		8	4
ラッチ用ふさぎプレート ※3		1	1
ラッチ+デッドボルト用 ふさぎプレート ※3		1	1
φ4×16 特サラ タッピンネジ（D=6）3種		2	2
取付説明書	―	1	1
取扱説明書	―	1	1

※3 取付ける玄関ドアに合せて、いずれかの部品を使用してください。

【3】リモコン（追加用）　オプション

名　称	略　図	員　数
リモコン		1
リモコン（追加用）取付説明書	―	1

梱包明細表

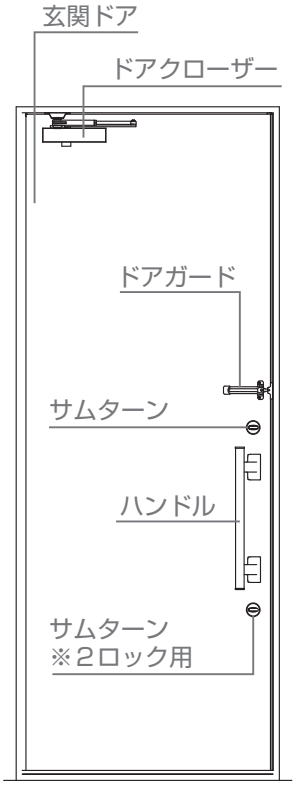
【4】電動サムターンセット

名　称	略　図	員　数			
		2ロック		1ロック	
		MIWA用	GOAL用	MIWA用	GOAL用
電動サムターン(MIWA用)		2	—	1	—
シート		2	—	1	—
ブラケット(MIWA用)		2	—	1	—
スペーサー(MIWA用)		2	—	1	—
M5×40 特サラ小ネジ(D=8)		4	—	1	—
M3×8 ナベ小ネジ		2	—	1	—
電動サムターン(GOAL用)		—	2	—	1
シート		—	2	—	1
ブラケット(GOAL用)		—	2	—	1
M4×10 特サラ小ネジ(D=6)		—	4	—	2
M3×8 ナベ小ネジ		—	2	—	1
コントローラー		1	1	1	1
壁掛けブラケット		1	1	1	1
インシュロック		1	1	1	1
M2.5×8ナベ小ネジ		4	4	4	4
ゴムキャップ		4	4	4	4
φ3×25 ナベタッピンネジ1種		4	4	4	4
リモコン(ブラック)		2	2	1	1

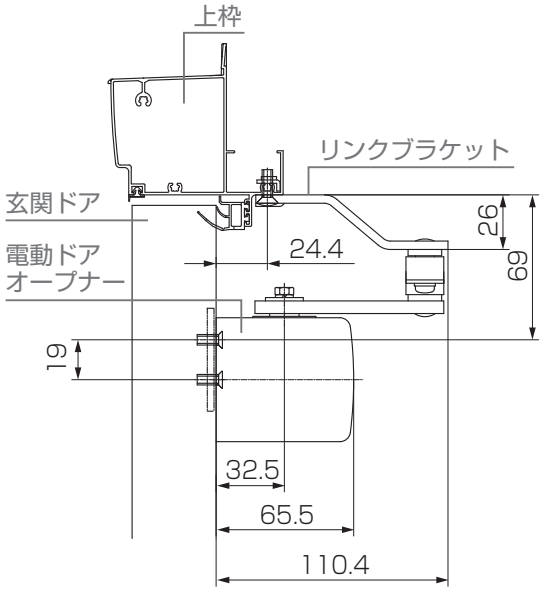
1 各部の名称 ※本図は内観左吊を示します。

1-1 玄関ドアの部材名称

【Before】



【After】

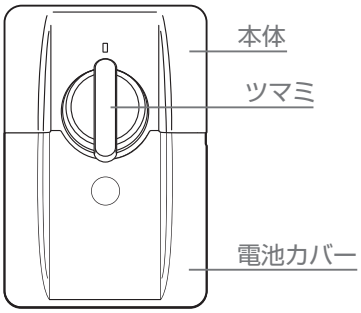


【玄関ドア上部断面図】

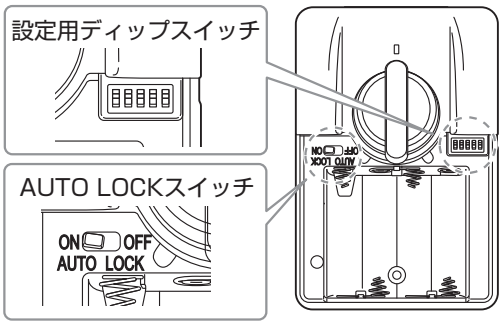
※玄関ドア、ハンドル、ドアガードを交換する必要はありません。

1-2 電動サムターン ※電動サムターンを上向きで取付けできない場合に限り、下向きに取付けてください。

▼ 上向き ▼



▼ 電池カバーを外した状態 ▼

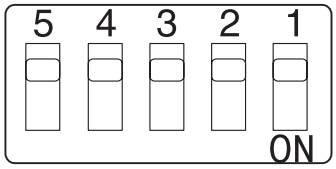


お願い

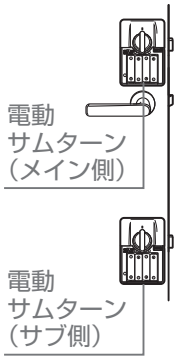
●リモコン受信時の「ピー」音を消したい場合には、電動サムターン(メイン側)のディップスイッチNo.3をOFFにしてください。

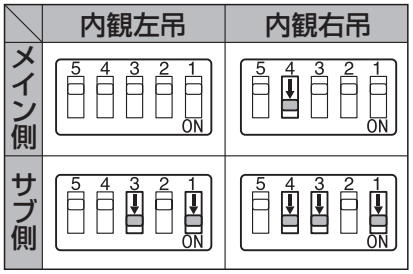
補　足

●電動サムターンの取付け位置に合わせて設定用ディップスイッチを切替えてください。



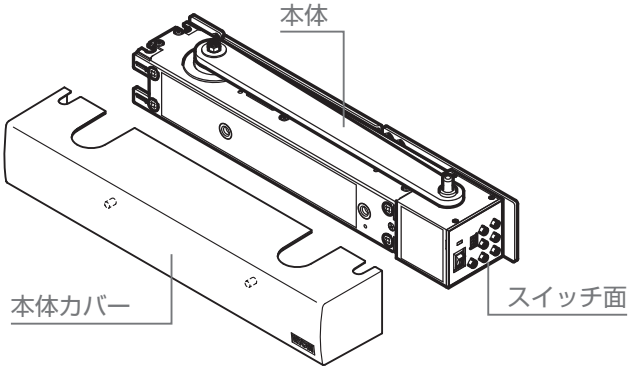
【設定用ディップスイッチ】
※出荷時は全てOFF

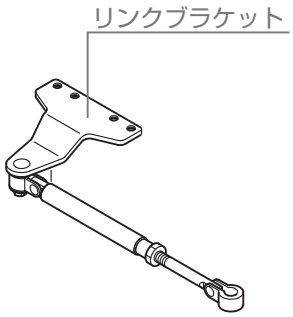




※サブ側の設定は2ロックの場合のみです。

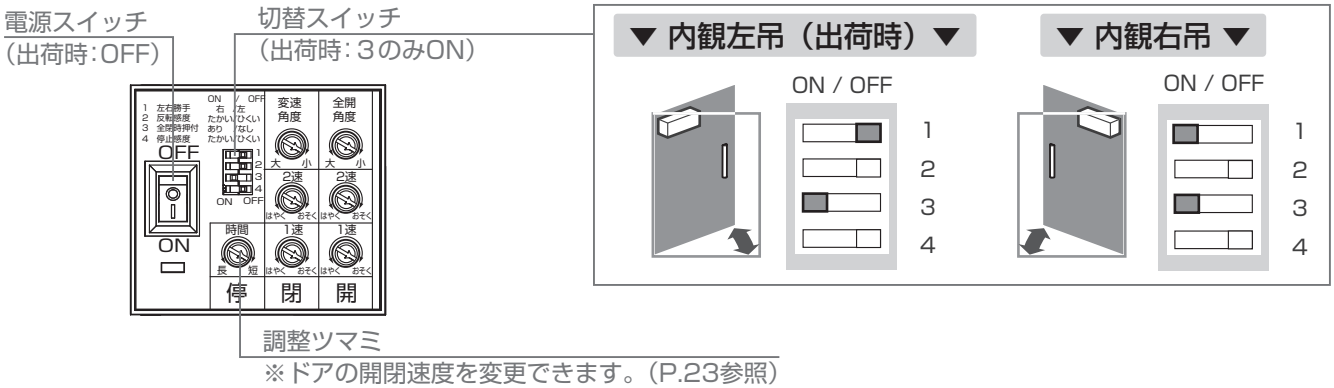
1-3 電動ドアオープナー





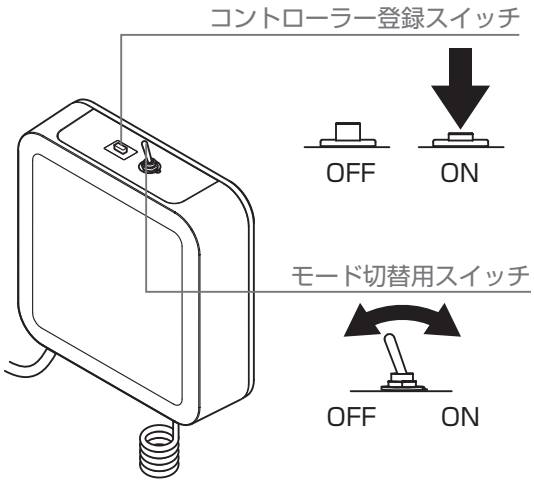
補　足

●電動ドアオープナー本体側面の本体スイッチ面を切り替えて調整をすることができます。

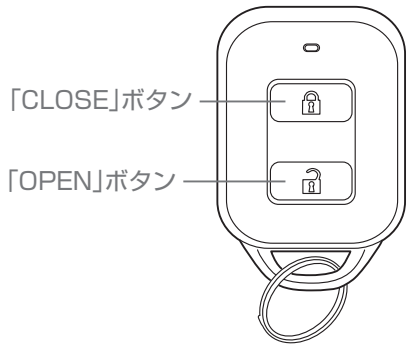


1-4 コントローラー＆リモコン

【コントローラー】



【リモコン】



補　足

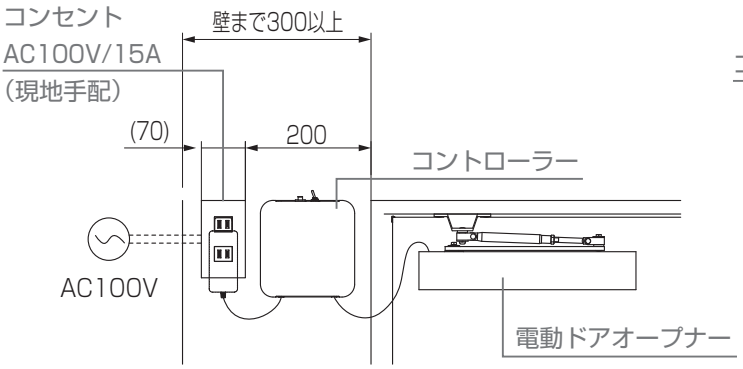
●使用電池：リチウムコイン電池（CR2025）
●最大８個まで登録することができます。

2 コンセントの設置

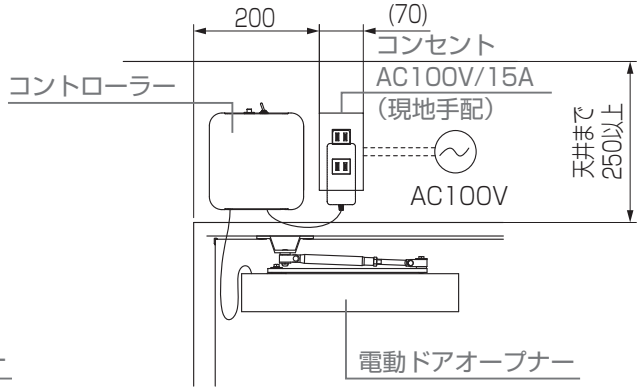
2-1 AC100Vコンセントの設置

1:玄関ドア吊元の横側または上側のスペースを確認して、コンセント(現地手配)の取付位置を決める

▼ 例1：吊元横側に取付ける場合 ▼

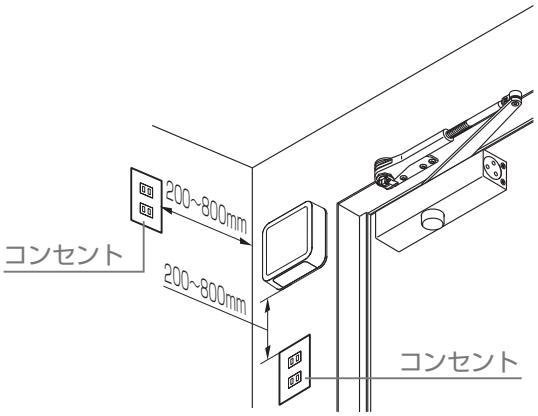


▼ 例2：上側に取付ける場合 ▼

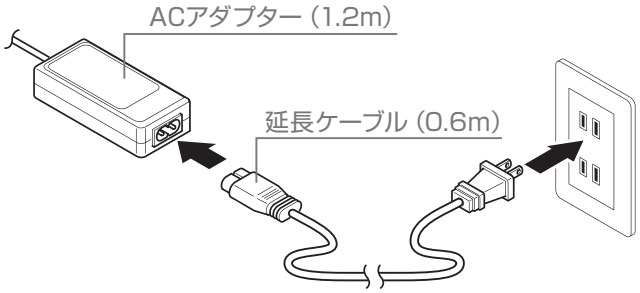


お願い

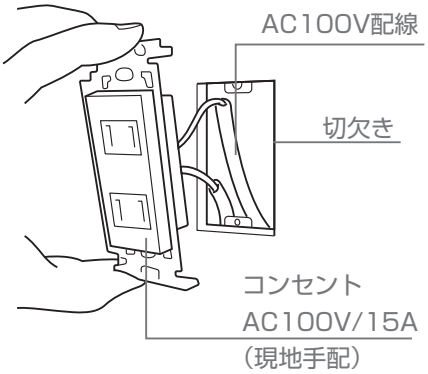
●コントローラーの横に十分なスペースを確保できない場合、以下のように近くにコンセントを取付けてください。



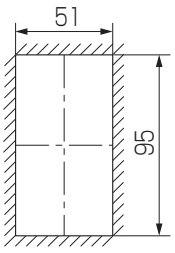
●コンセントを増設せずに室内コンセントを利用する場合、付属の延長ケーブルを使用してください。また、長さが足りないときは、別途市販の電源タップをご用意ください。



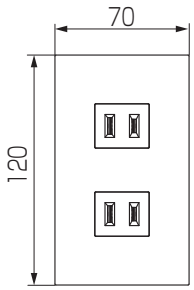
2:壁に切欠きを設けて、配線を引き出してコンセント(現地手配)を取付け



▼ コンセント(2コロ)の場合▼



【切欠き】



【プレートサイズ】

注 意

●AC100V用コンセントの取付工事には電気工事士の資格が必要です。お近くの電気工事店へご依頼ください。
●AC100V用コンセントは、屋内の壁に切欠きを設けてから設置してください。水のかかる場所や湿度の高い場所へは設置しないでください。

3 電動サムターンの取付け ※本図は内観左吊を示します。右吊は左右対称です。

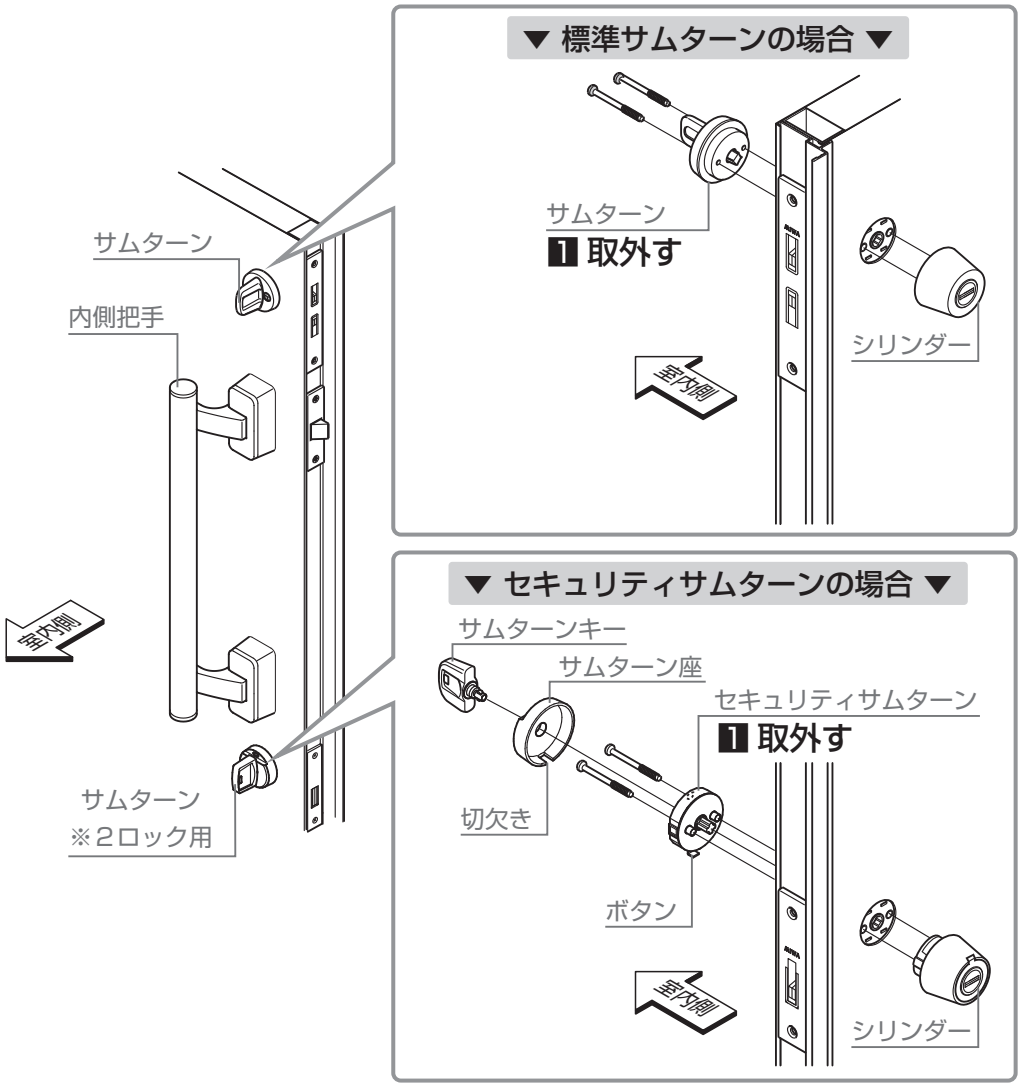
※本手順はLIXIL製玄関ドア（ジエスタ２）の場合を示します。他の玄関ドア、その他メーカーの玄関ドアについては、それぞれの取付説明書を参照してサムターンの取外しを行なってください。

3-1 既設サムターンの取外し

お願い

●2ロックの場合は、下側のセキュリティサムターンもあわせて取外してください。

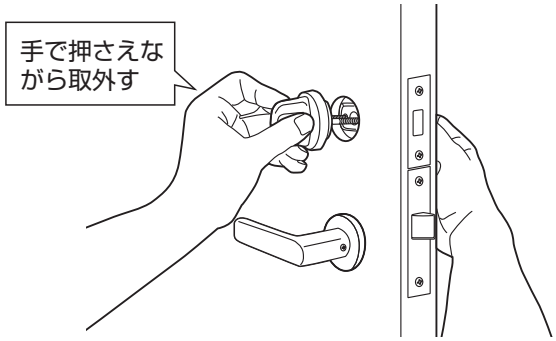
1:玄関ドアの室内側からネジを取外してサムターンを取外す



補　足

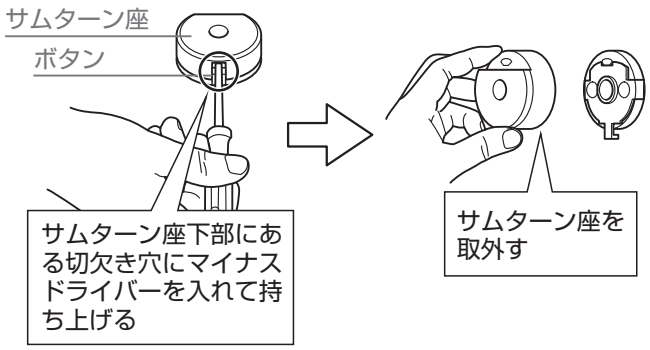
●シリンダーを落下させない様に手で押さえながらサムターンを取外してください。

▼ サムターンを取外す場合 ▼



●セキュリティサムターンのボタンとサムターン座の隙間にマイナスドライバーを差込んで外してください。

▼ セキュリティサムターンを取外す場合 ▼



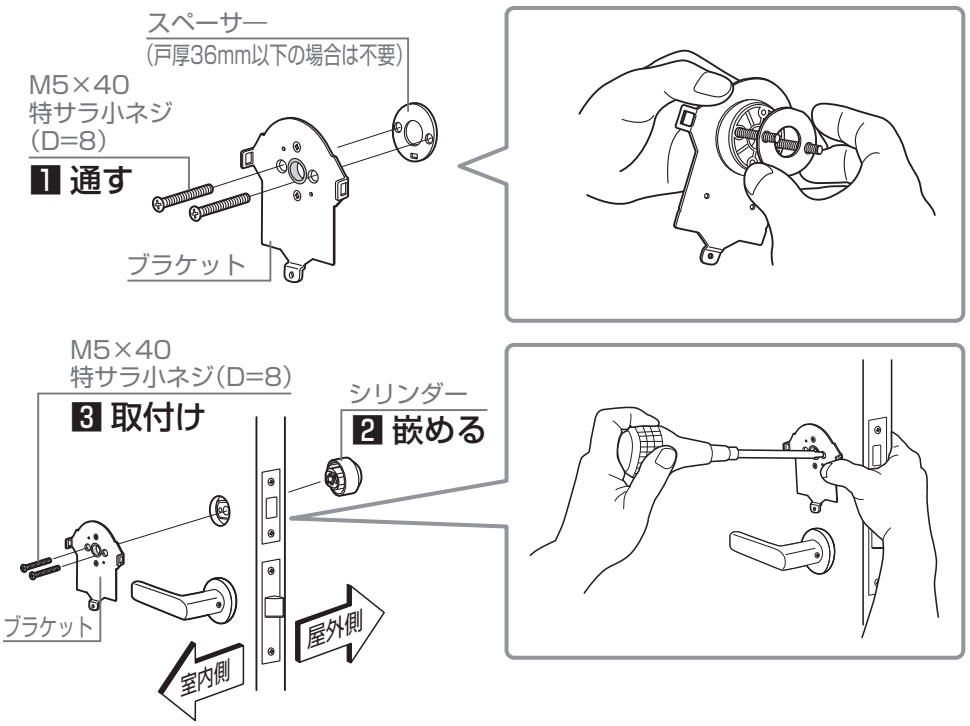
3 電動サムターンの取付け ※本図は内観左吊を示します。右吊は左右対称です。

3-2 ブラケットの取付け(MIWA用) ※2ロックの場合、メイン・サブの上下両方に実施してください。

1:ブラケットとスペーサーにM5×40
特サラ小ネジ(D=8)を通す

2:屋外側からシリンダーを嵌める

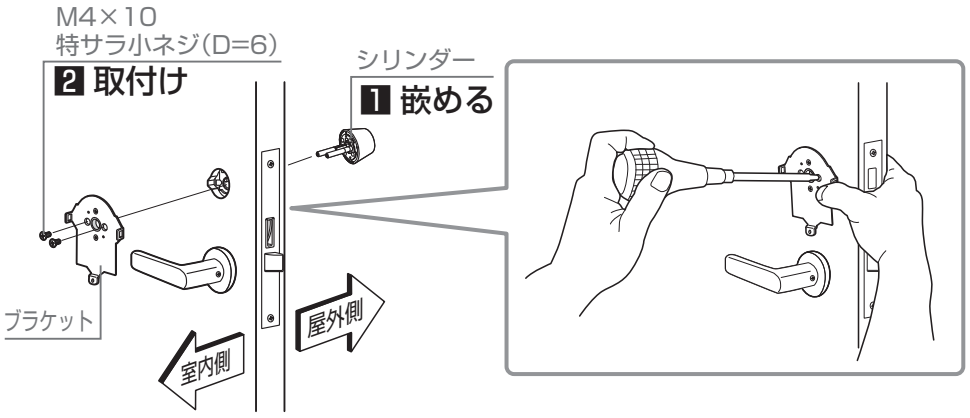
3:室内側からブラケットをM5×40
特サラ小ネジ(D=8)で取付け



3-3 ブラケットの取付け(GOAL用) ※2ロックの場合、メイン・サブの上下両方に実施してください。

1:屋外側からシリンダーを嵌める

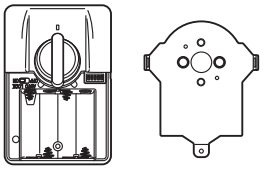
2:室内側からブラケットをM4×10
特サラ小ネジ(D=6)で取付け



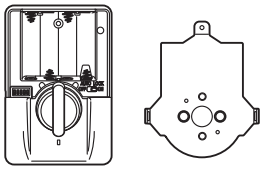
補 足

●電動サムターンを上向きで取付けできない場合に限り、下向きに取付けてください。

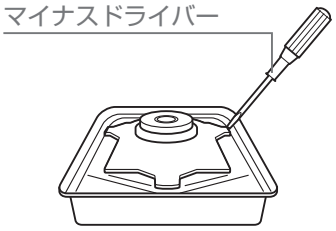
▼ 上向きの場合 ▼



▼ 下向きの場合 ▼



●電動サムターンからブラケットを取外す場合は、マイナスドライバーを使用して本体から取外してください。



3-4 電動サムターン本体の取付け ※2ロックの場合、メイン・サブの上下両方に実施してください。

1:鍵を解錠状態にしてからシートと電動サムターンをブラケットにM3×8 ナベ小ネジで取付け

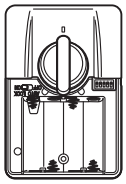
▼ 内観左吊の場合 ▼

2:ツマミを回して、デッドボルトの施解錠が正しくできているか確認

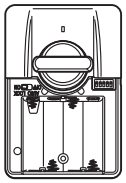
お願い

●電動サムターンのツマミの向きを内観左吊は縦に、内観右吊は横にしてから取付けてください。誤って取付けるとツマミを回転できません。

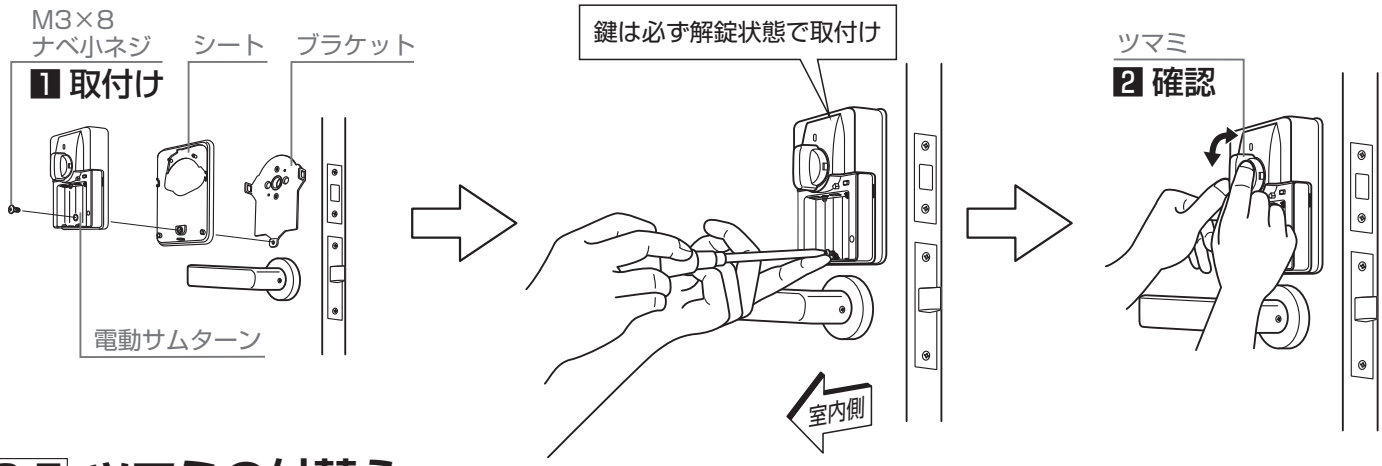
▼ 内観左吊の場合 ▼　▼ 内観右吊の場合 ▼



【縦向き】



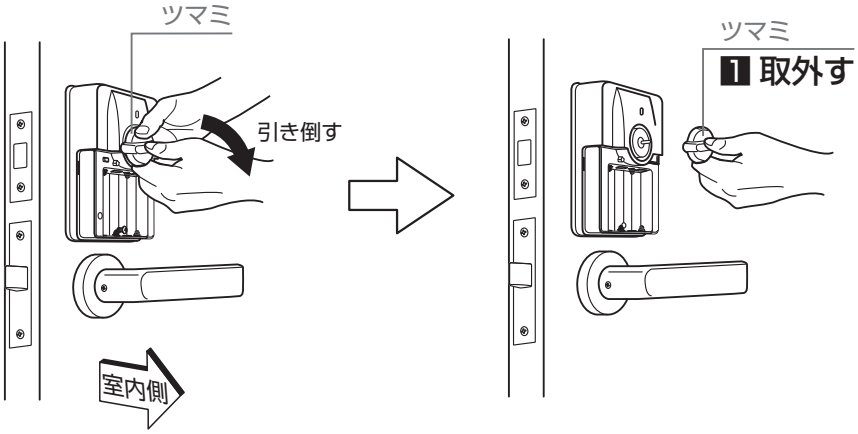
【横向き】



3-5 ツマミの付替え ※内観右吊のみの作業です。2ロックの場合、メイン・サブの上下両方に実施してください。

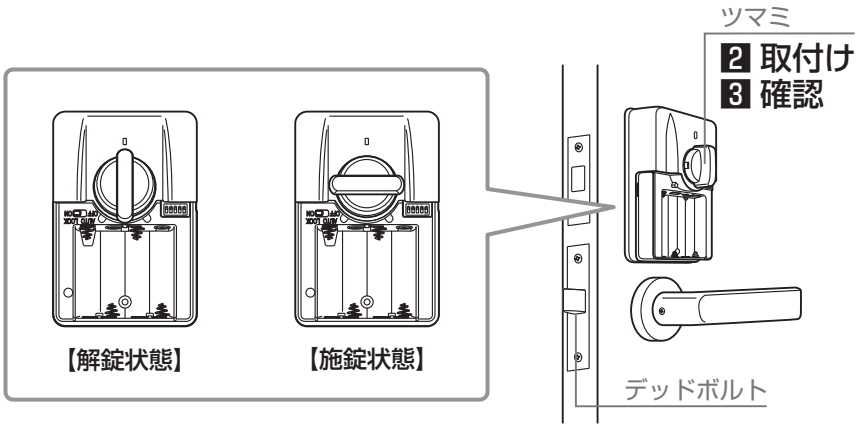
▼ 内観右吊の場合 ▼

1:電動サムターンのツマミを横向きにして、両手で引き倒すように力を加えてツマミを取外す



2:ツマミを90°回転して電動サムターンに再度取付け

3:ツマミを回してデッドボルトの施解錠が正しくできているか確認



4 電動ドアオープナーの取付け ※本図は内観左吊を示します。右吊は左右対称です。

※本手順はLIXIL製玄関ドア（ジエスタ2）の場合を示します。他の玄関ドア、その他メーカーの玄関ドアについてはそれぞれの取付説明書を参照してドアクローザーを取外してください。

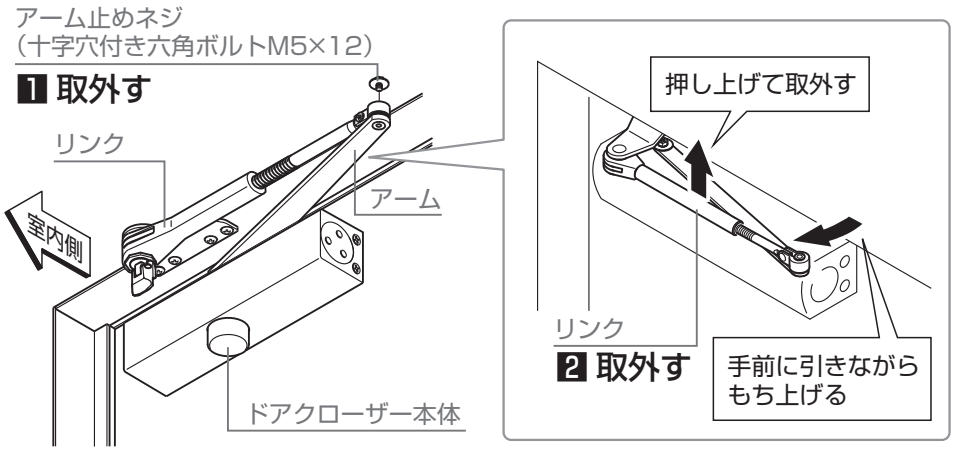
4-1 既設ドアクローザーの取外し

注 意

- 必ず玄関ドアを施錠した状態で作業してください。玄関ドアが風などで動いて、思わぬ事故につながるおそれがあります。
- ドアクローザーを落下させない様にしっかりと手で押さえながら作業をしてください。

1:室内側からドアクローザーのアームとリンクを結合しているアーム止めネジを取外す

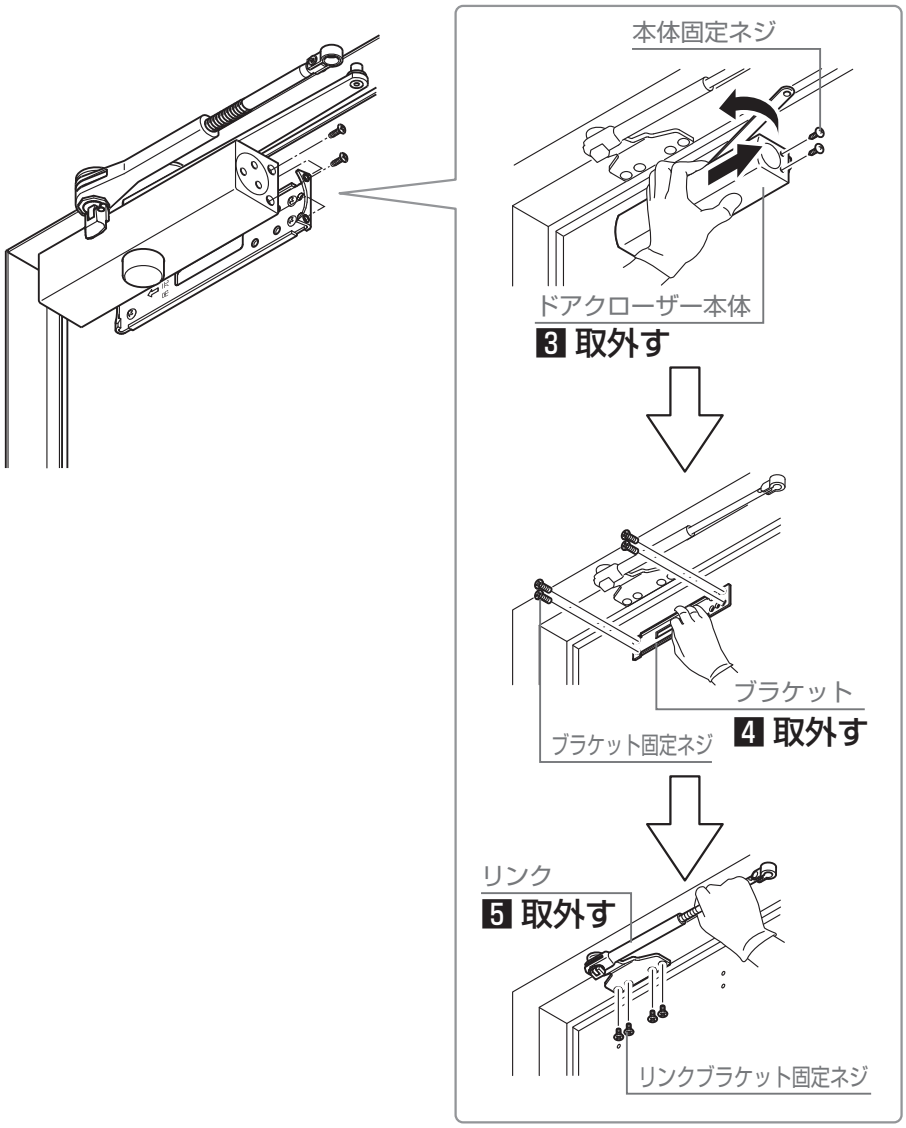
2:アームを手前に引きながらリンクを押し上げて取外す



3:ドアクローザー側面の本体固定ネジを取外して、本体を取外す

4:ブラケット固定ネジ（φ5×25 特サラタッピンネジ（D=8）またはM5×12 サラ小ネジ）を取外して、ブラケットを取外す

5:リンクブラケット固定ネジ（M5×12 サラ小ネジ）を取外して、リンクを上枠から取外す

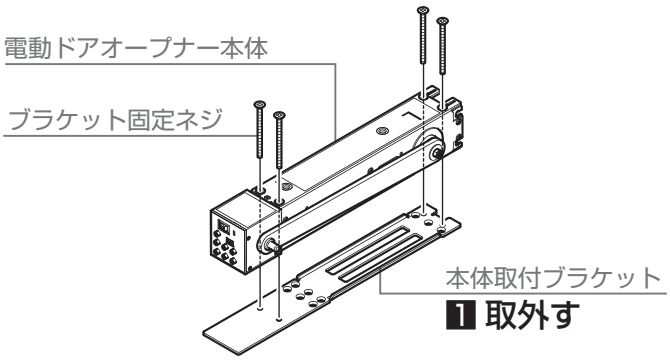


4-2 ブラケットの取付け

1:電動ドアオープナー本体からブラケット固定ネジを取外して、本体取付ブラケットを取外す

注 意

●取外したネジは再度使用しますので紛失しない様に保管してください。

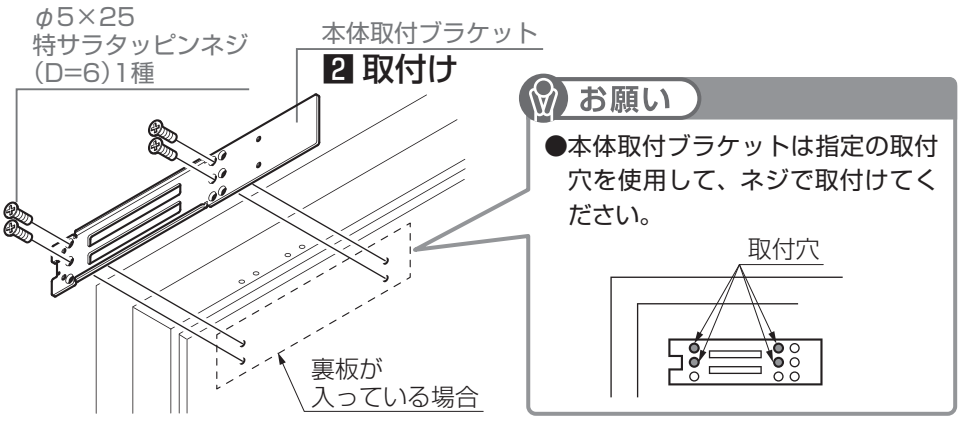


2:本体取付ブラケットを玄関ドアにφ5×25特サラタッピンネジ(D=6)1種で取付け

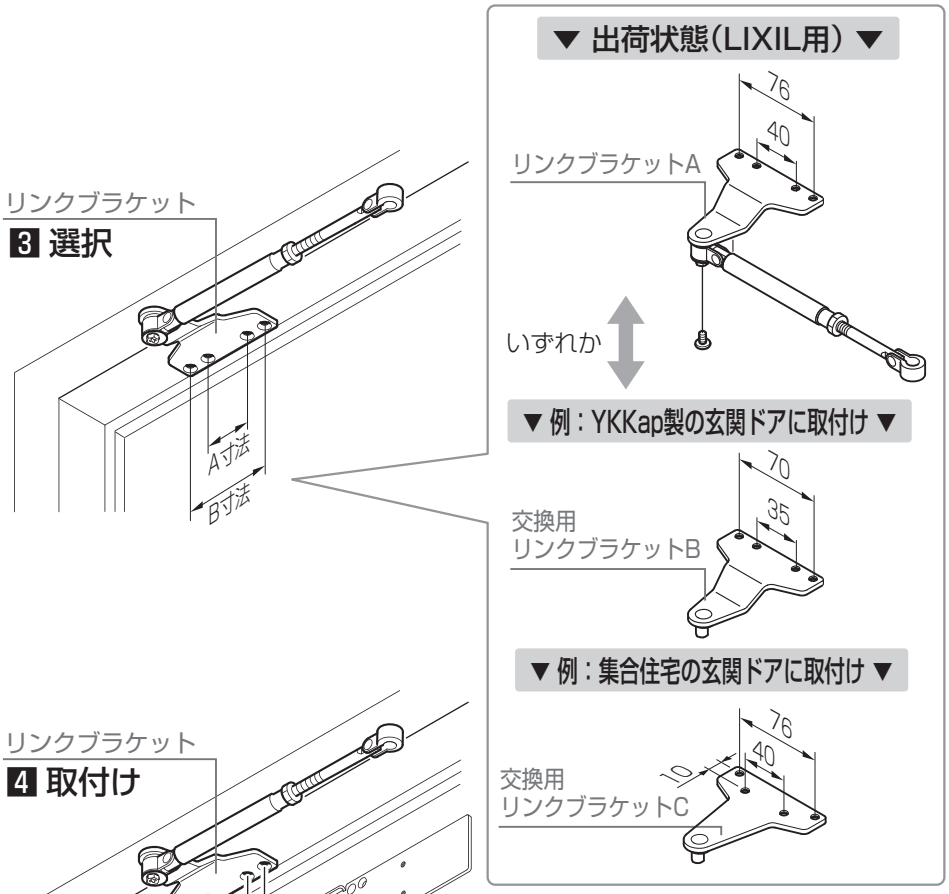
補 足

●裏板が入っている場合、または、スチール製ドアの場合は、電動ドアオープナーセットの予備ネジまたはM5×12サラ小ネジを使用してください。

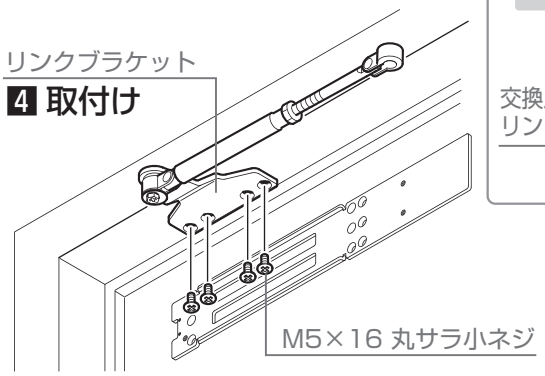
●裏板を固定しているネジ頭が干渉する場合、サラ小ネジ（現場手配）に変更しててください。ドア本体へのサラ加工が必要です



3:リンクブラケットの取付ピッチ(A寸法、B寸法)に合せて、リンクブラケットまたは交換用リンクブラケットを選択

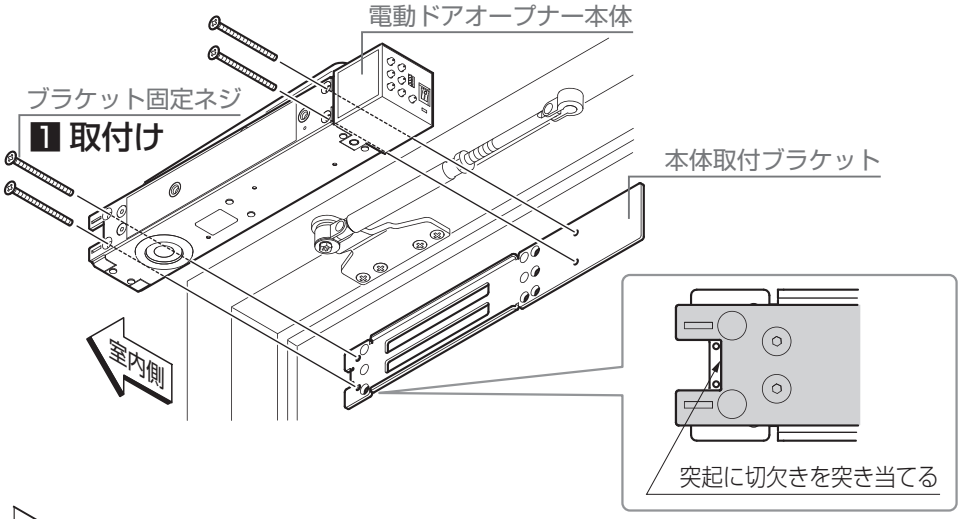


4:リンクブラケットを玄関ドアにM5×16丸サラ小ネジで取付け

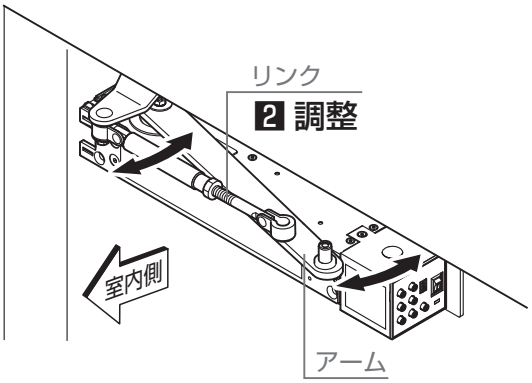


4-3 電動ドアオープナー本体の取付け

1:電動ドアオープナー本体を本体取付ブラケットに「**4-2 ブラケットの取付け**」1で取外したブラケット固定ネジで取付け



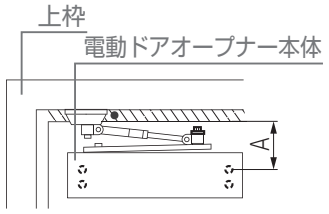
2:電動ドアオープナーのアームを動かして、アームとリンクが接合できる様にリンクの長さを調整

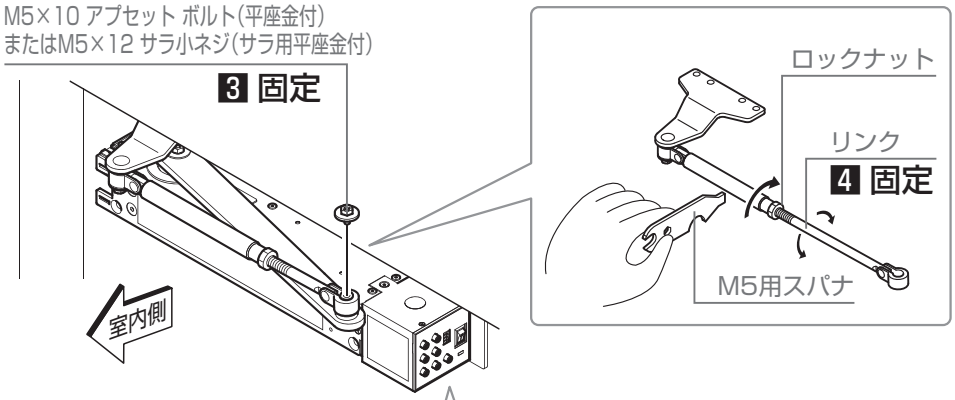


3:電動ドアオープナー本体のアームとリンクをM5×10 アプセットボルト（平座金付）で固定

補 足

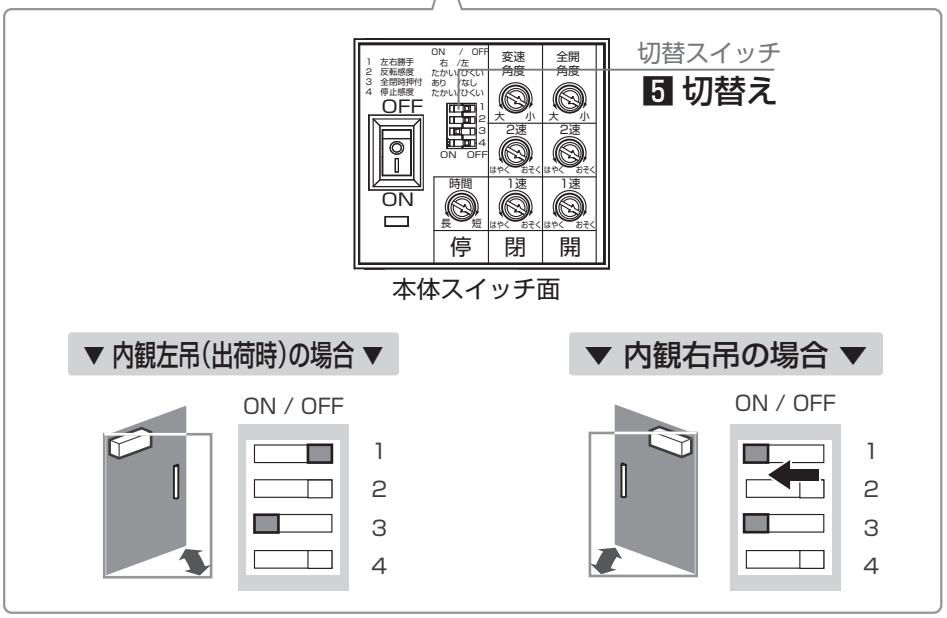
●下図のA寸法が45mm以下の場合は、電動ドアオープナーセットの予備ネジからM5×12サラ小ネジ（サラ用平座金付）を使用してください。





4:リンクのロックナットをスパナで締め付けてリンクの長さを固定

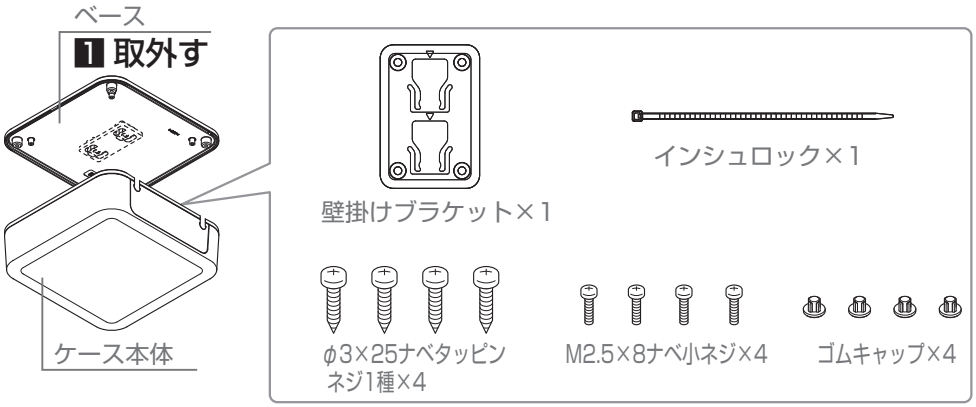
5:電動ドアオープナー側面にある本体スイッチ面の切替スイッチの「No.1」を切替え



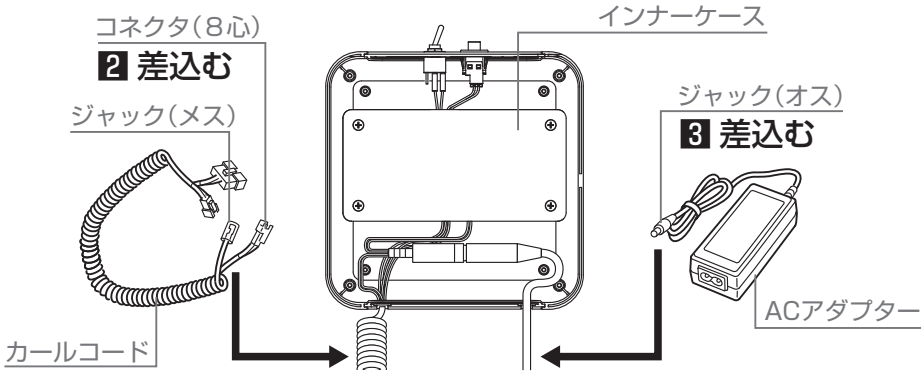
5 コントローラーの取付け ※本図は内観左吊を示します。右吊は左右対称です。

5-1 コントローラーへの配線

1:コントローラーのベースをケース本体から取外し、ケース本体の中から部品を取出す

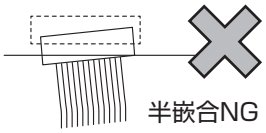


2:カールコードのコネクター(8心)をケース本体のインナーケース下部に差込む



補 足

●コネクター(8心)は、配線をキズ付けない様に注意して奥までしっかりと差込んでください。

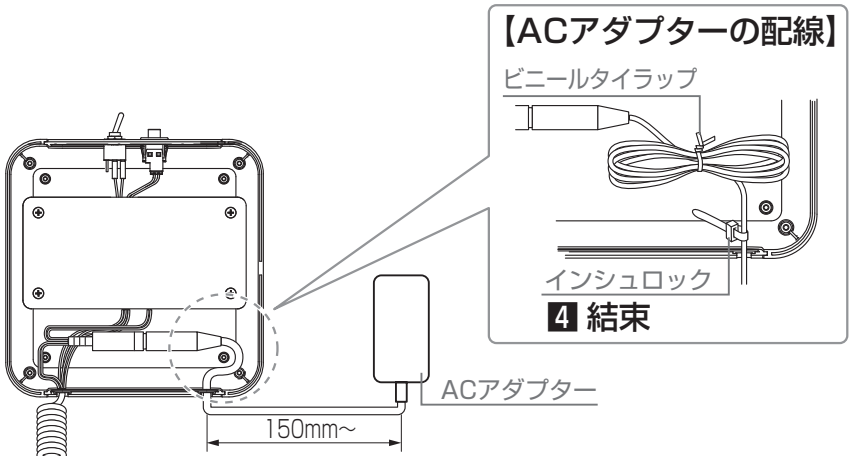


3:ACアダプターのジャック(オス)をカールコードのジャック(メス)に差込む

4:ACアダプターの配線をケース本体からコンセントまでの長さを引出して、ケース本体のケーブル引出口にインシュロックを結束

補 足

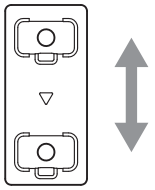
●余ったケーブルはビニールタイラップで束ねてケース本体へ収納してください。

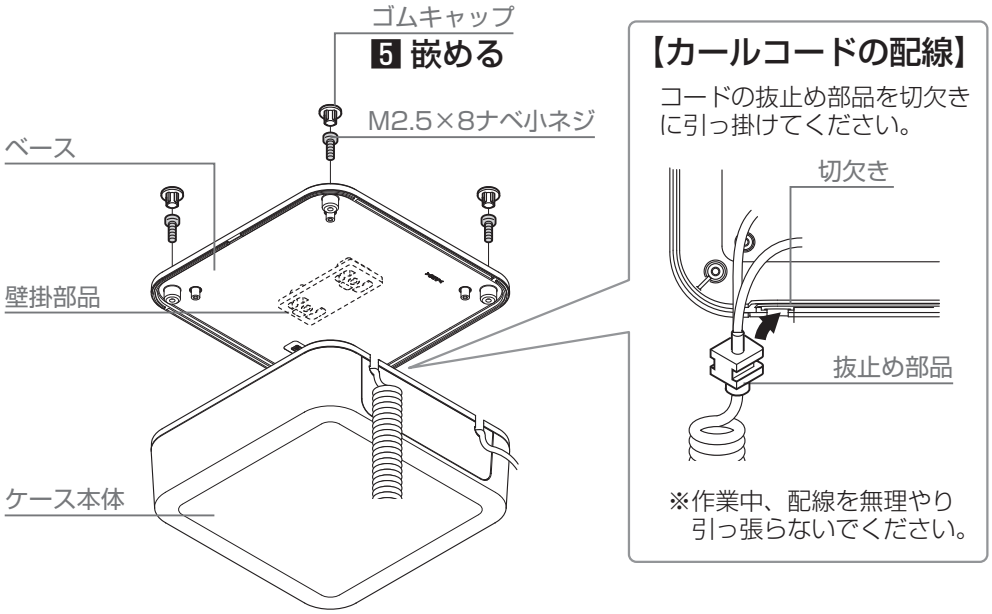


5:コントローラーのベースとケース本体をM2.5×8ナベ小ネジで取付けて、ゴムキャップを嵌める

補 足

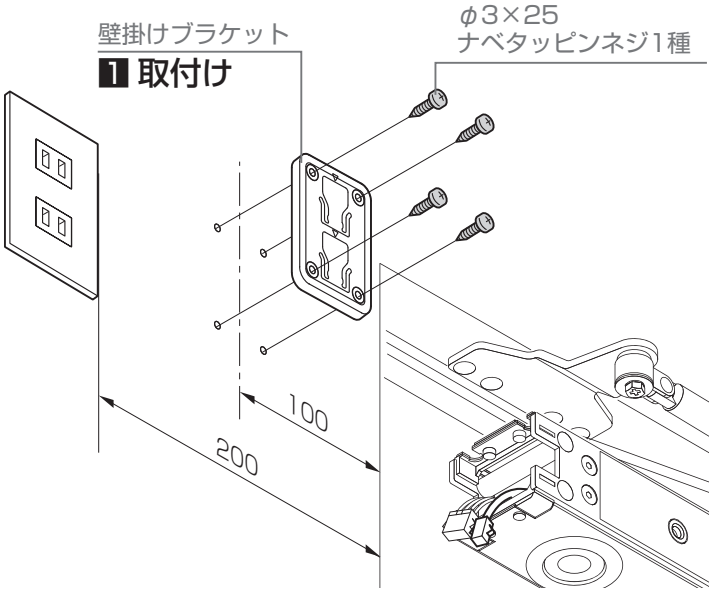
●ベースは壁掛部品の▽マークを上向きにして取付けてください。

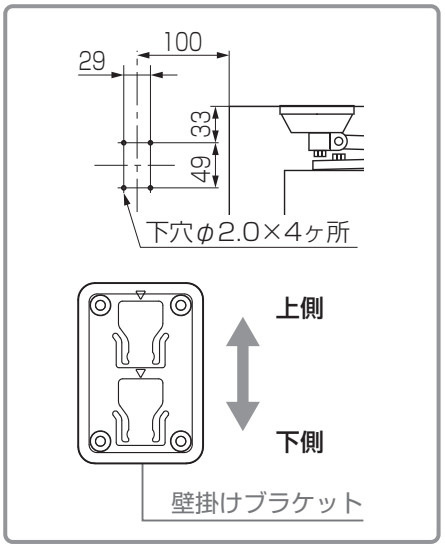




5-2 壁掛けブラケットの取付け

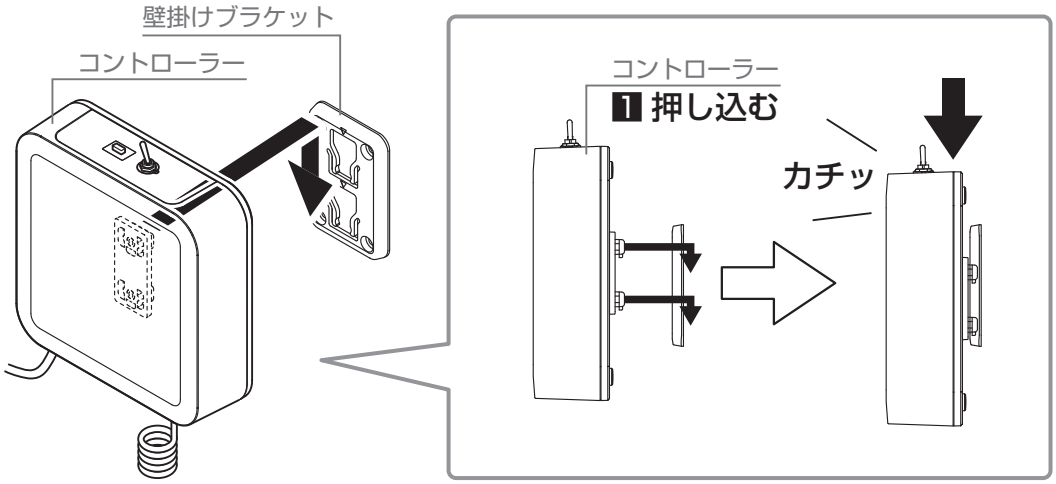
1:玄関ドア吊元側の縁とコンセントの間に壁掛けブラケットを上下方向に気を付けてφ3×25 ナベタッピンネジ1種で取付け



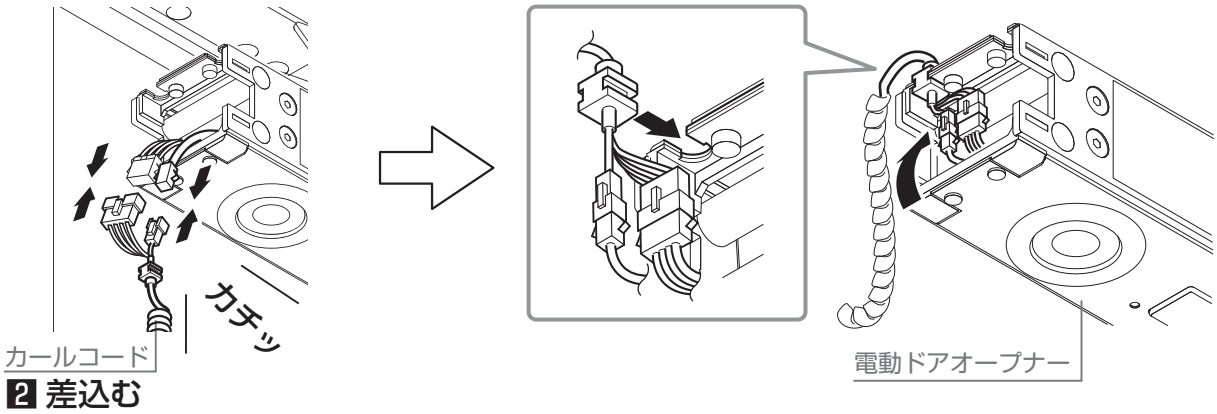


5-3 コントローラーの取付け

1:コントローラーを壁掛けブラケットへ引っ掛けて、「カチッ」と音が鳴るまで上から下に押し込む



2:コントローラーのカールコードを電動ドアオープナーのコネクター(2口とも)に差込む



お願い

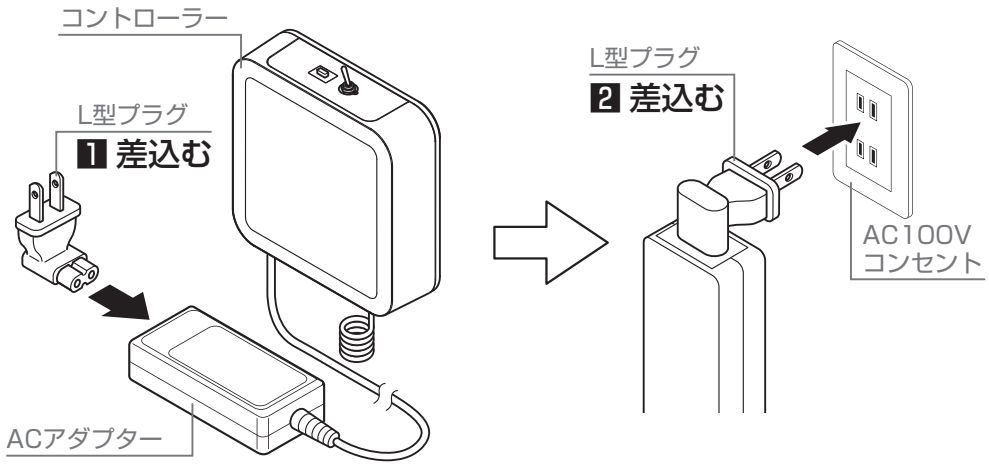
●コネクターはしっかりと嵌め込んでください。半嵌合の状態で使用すると誤作動の原因になります。

5 コントローラーの取付け ※本図は内観左吊を示します。右吊は左右対称です

5-4 コンセントプラグの差込み

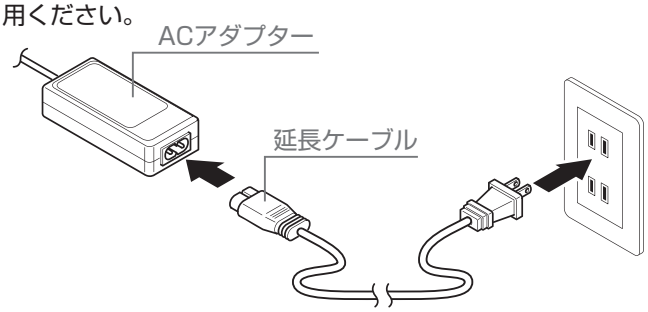
1:L型プラグをACアダプターの先端に差込む

2:L型プラグをAC100Vコンセントへ差込む

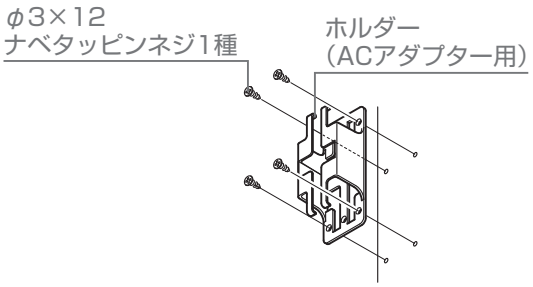


補 足

●コンセントを増設せずに、玄関内のコンセントに仮設する場合、付属の延長ケーブルをACアダプターに差込んでご利用ください。



●ACアダプターはホルダーを壁にφ3×12ナベタッピンネジ1種で取付けて固定してください。



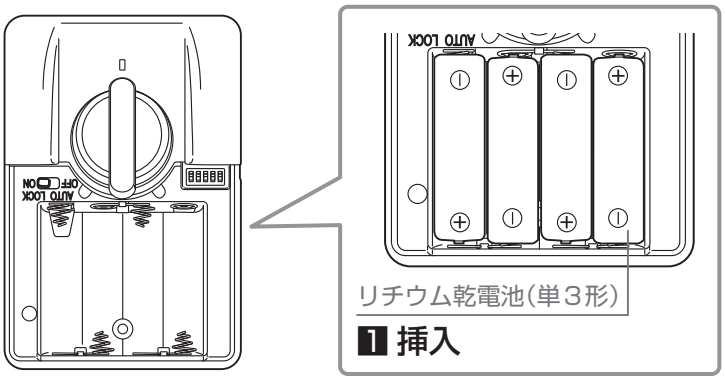
6 電動サムターンの設定 ※本図は内観左吊を示します。右吊は左右対称です。

6-1 電動サムターンへの電池の挿入 ※2ロックの場合、メイン・サブの上下両方に実施してください。

1:+−を確認して、リチウム乾電池(単3形)の方向を合わせて挿入

注 意

●電動サムターンの電池にマンガンやアルカリ電池、充電式電池、新旧の異なる電池、種類の異なる電池を使用しないでください。極端な寿命劣化や液漏れ等故障原因につながります。



6 電動サムターンの設定 ※本図は内観左吊を示します。右吊は左右対称です。

6-2 電動サムターンの回転方向を設定

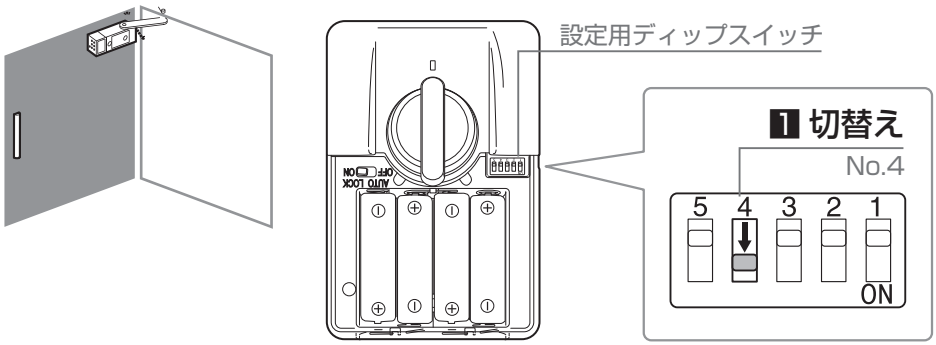
※2ロックの場合、メイン・サブの上下両方に実施してください。
※内観右吊の場合のみの作業です。

▼ 内観右吊の場合 ▼

1:設定用ディップスイッチの「No.4」をONに切替え

お願い

●内観左吊の場合はOFFのまま変更しないでください。



6-3 2ロック用電動サムターン(サブ側)の設定

※2ロックの場合のみの作業です。

▼ 2ロックの場合 ▼

1:下側の電動サムターン(2ロック用)の設定用ディップスイッチをONに切替え

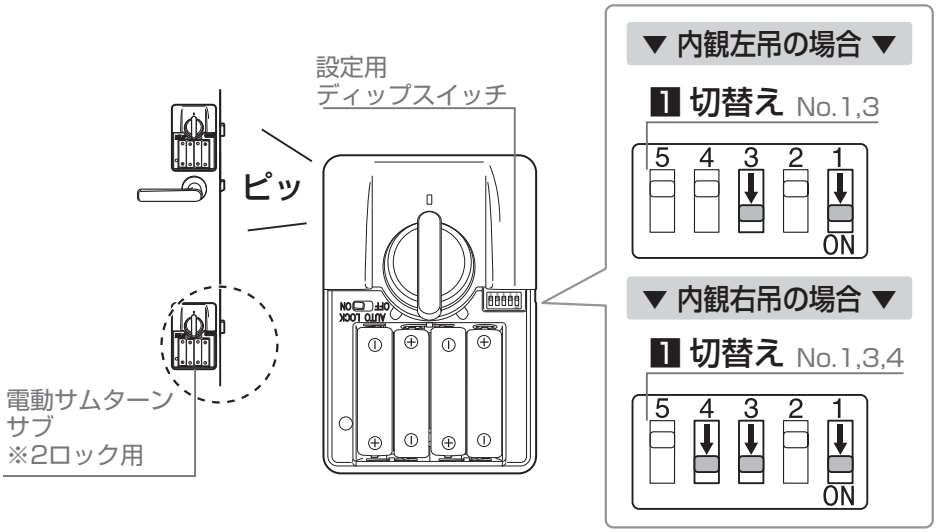
お願い

▼ 内観左吊の場合 ▼

●「No.1」「No.3」をONに切替えてください。

▼ 内観右吊の場合 ▼

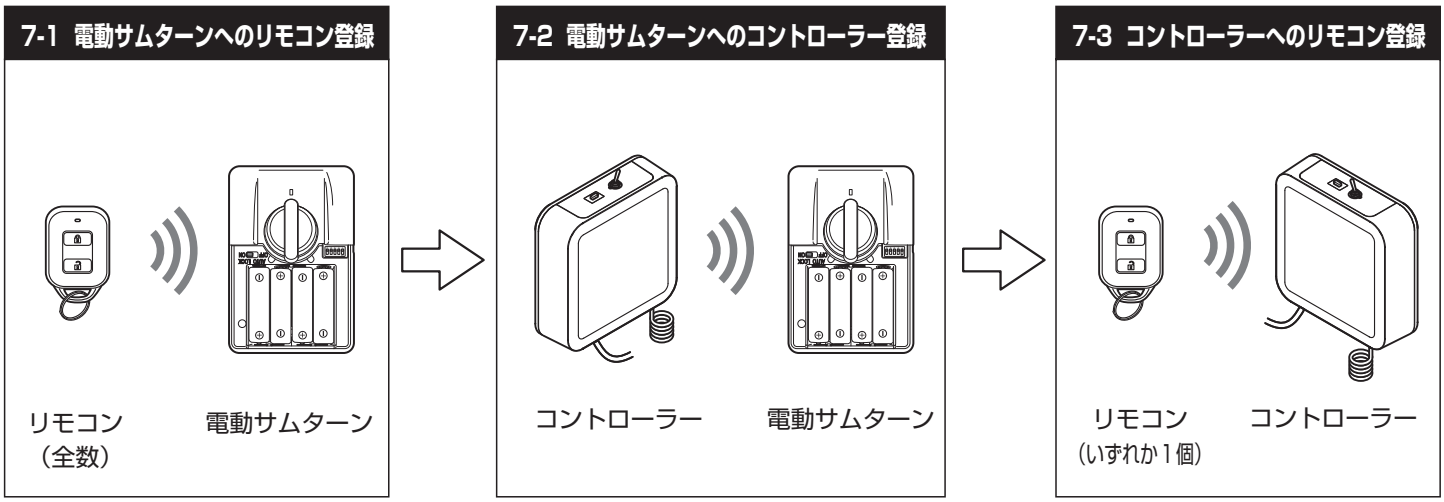
●「No.1」「No.3」「No.4」をONに切替えてください。



7 初期登録 ※本図は内観左吊を示します。右吊は左右対称です。

お願い

●初期登録作業は必ず以下の順番で行なってください。作業する順番を間違えると、初期登録が正常にできません。



補 足

●リモコンだけを追加登録する場合は、「7-1 電動サムターンへのリモコン登録」の初期登録作業のみ行なってください。

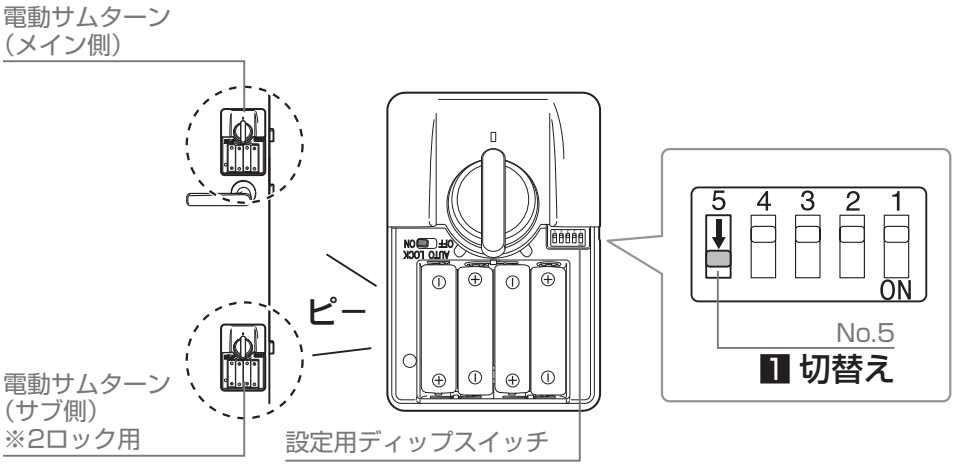
7 初期登録 ※本図は内観左吊を示します。右吊は左右対称です。

7-1 電動サムターンへのリモコン登録 ※2ロックの場合、メイン・サブの上下別々に実施してください。

補 足

●電動サムターンから「ピー」音が鳴ってから30秒間初期登録モードに入ります。制限時間内に2～3の作業を完了してください。制限時間30秒を経過し、LEDが赤色に点滅し「ピッピッ・・・」と音が鳴ったら作業をやり直してください。

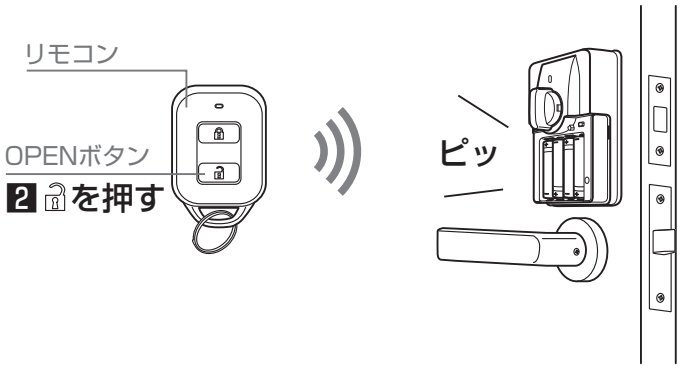
1:電動サムターンの設定用ディップスイッチの「No.5」をONに切替えて初期登録モードにする



2:初期登録する全てのリモコンの「OPEN」ボタンを押す

お願い

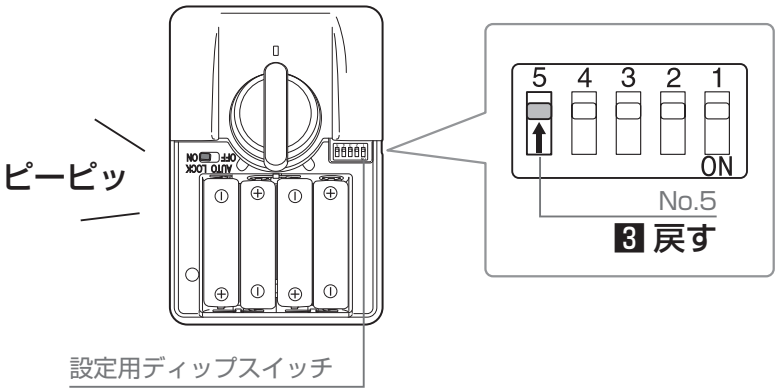
●使用する全てのリモコンを同時に登録してください。1個だけあとから登録することはできません。



補 足

●電動サムターンが「ピッ」と鳴ったら仮登録完了です。

3:使用する全てのリモコンの仮登録が完了したら、設定用ディップスイッチの「No.5」をOFFに戻して初期登録を完了させる

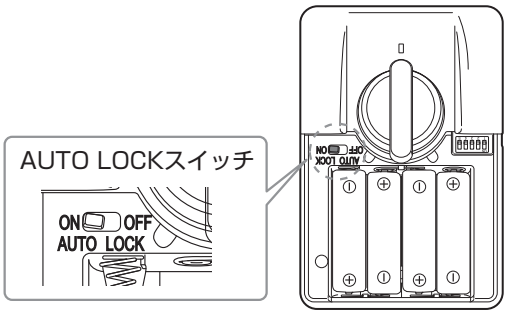


補 足

●ディップスイッチをOFFに戻すと登録したリモコン数に合わせてブザーが鳴ります。
・リモコン1個の場合：ピーピッ
・リモコン2個の場合：ピーピッピッ
・リモコン3個の場合：ピーピッピッピッ

お願い

●2ロックの場合、誤登録防止のためメイン・サブを別々に作業してください。
●リモコンは8個以上登録しないでください。9個目を登録すると最初に登録した1個目のリモコン登録情報が抹消されます。
●電動サムターンの「AUTO LOCK」スイッチはONのままにしてください。

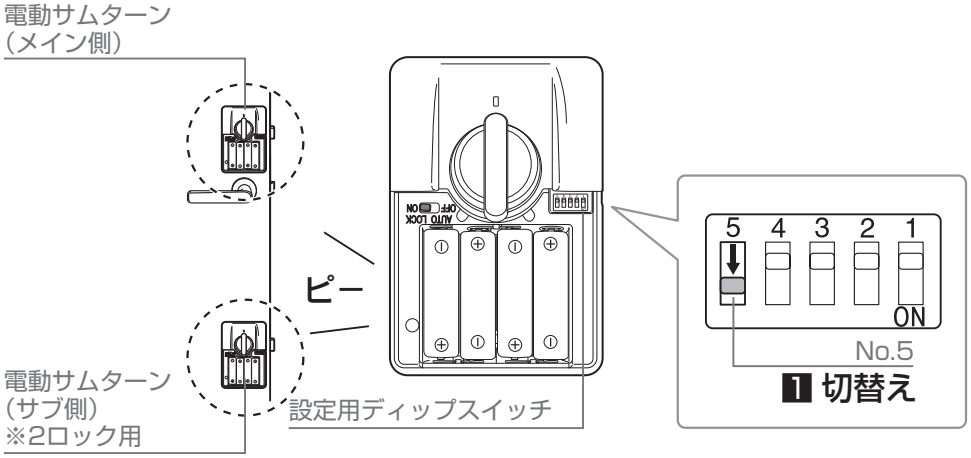


7-2 電動サムターンへのコントローラー登録 ※2ロックの場合、メイン・サブの上下別々に実施してください。

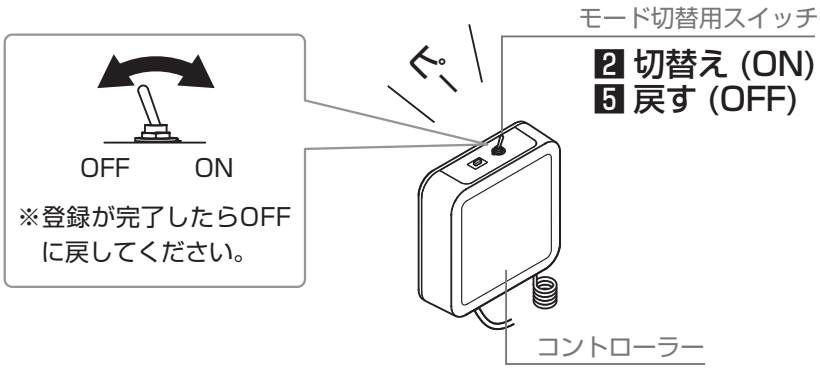
補 足

●電動サムターン、コントローラーから「ピー」音が鳴ってから30秒間初期登録モードに入ります。制限時間内に作業を完了してください。制限時間30秒を経過し、LEDが赤色に点滅し「ピッピッ・・・」と音が鳴ったら作業をやり直してください。

1:電動サムターンの設定用ディップスイッチの「No.5」をONに切替えて初期登録モードにする



2:コントローラーの「モード切替用スイッチ」をONへ切替え



3:コントローラーの「コントローラー登録スイッチ」を押す

補 足

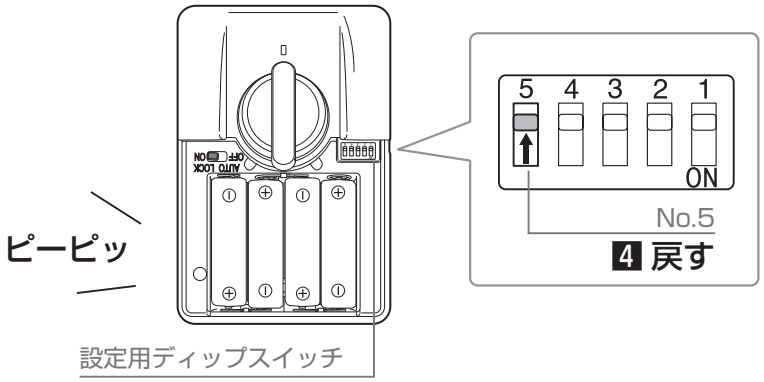
●電動サムターンが「ピッ」と鳴ったら仮登録完了です。

4:コントローラーの仮登録が完了したら、設定用ディップスイッチの「No.5」をOFFに戻して初期登録を完了させる

補 足

●設定用ディップスイッチが「ピーピッ」と鳴ったら登録完了です。

5:コントローラーの「モード切替用スイッチ」をOFFへ戻す



お願い

●2ロックの場合、誤登録防止のためメイン・サブを別々に作業してください。
●電動サムターンの「AUTO LOCK」スイッチはONのままにしてください。

7 初期登録 ※本図は内観左吊を示します。右吊は左右対称です。

7-3 コントローラーへのリモコン登録 ※使用するリモコンのいずれか1個のみ実施してください。

補 足

●コントローラーから「ピー」音が鳴ってから30秒間初期登録モードに入ります。制限時間内に作業を完了してください。制限時間30秒を経過して「ピッピッ・・・」と音が鳴ったら作業をやり直してください。

1:コントローラーの「モード切替用スイッチ」をONに切替え

2:リモコンの「OPEN」ボタンを押す

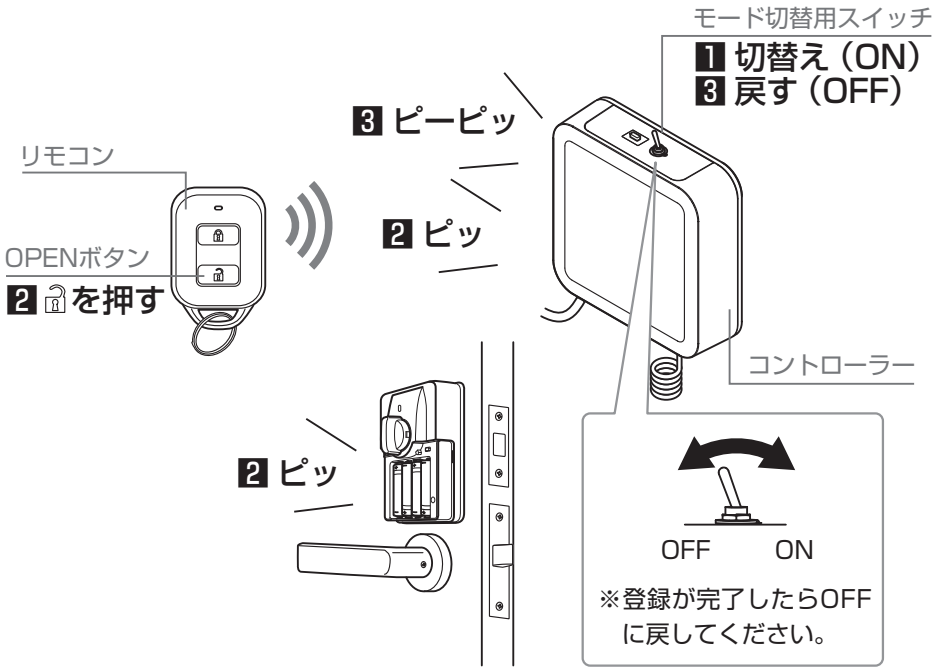
補 足

●コントローラーと電動サムターンが「ピッ」と鳴ったら仮登録完了です。

3:リモコンの仮登録が完了したら、「モード切替スイッチ」をOFFに戻して初期登録を完了させる

補 足

●ディップスイッチをOFFに戻すとロックの数に合わせてブザーが鳴ります。
・1ロックの場合：ピーピッ
・2ロックの場合：ピーピッピッ



8 ラッチプレートの取付け ※本図は内観左吊を示します。右吊は左右対称です。

1:ラッチ錠を固定しているネジを取外す

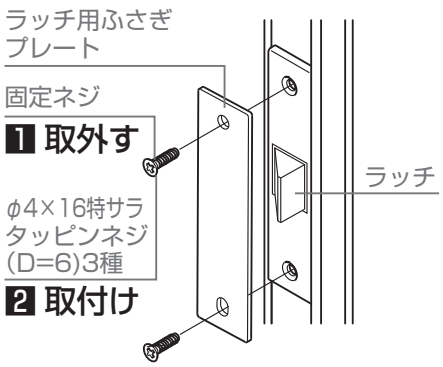
2:ラッチ用ふさぎプレートをφ4×16特サラタッピンネジ(D=6) 3種でラッチ錠と共締めして取付け

補 足

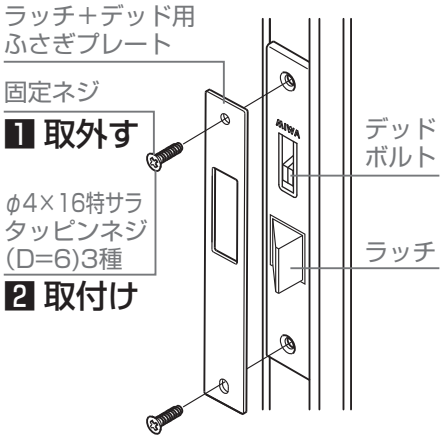
▼ ラッチ+デッドボルトの場合 ▼

●電動サムターンを回してデッドボルトがスムーズに動くことを確認してください。

▼ ラッチだけの場合 ▼



▼ ラッチ+デッドボルトの場合 ▼

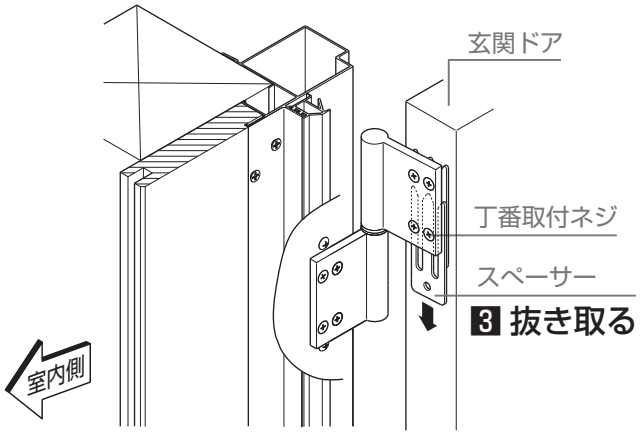


▼ ドアのチリ寸法を調整する場合 ▼

3:玄関ドアの室内側から丁番取付ネジをゆるめて、スペーサーを抜き取る

補 足

●LIXIL製以外のドアのチリ寸法を調整する場合、各メーカーの指示に従って作業をしてください。



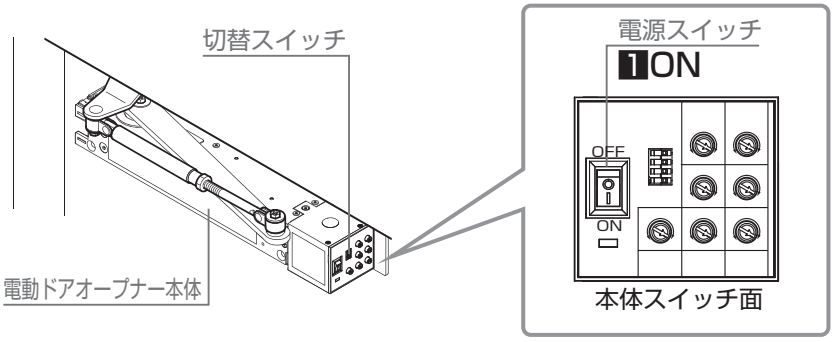
9 動作確認 ※本図は内観左吊を示します。右吊は左右対称です。

9-1 電源投入

1:玄関ドアを閉めて、電動サムターン施錠をした状態で、電源スイッチを「ON」に設定

補 足

●電源スイッチを「ON」にすると、電動ドアオープナーから「ピッピッ」と音が鳴り、玄関ドアが閉まる方向に動こうとします。

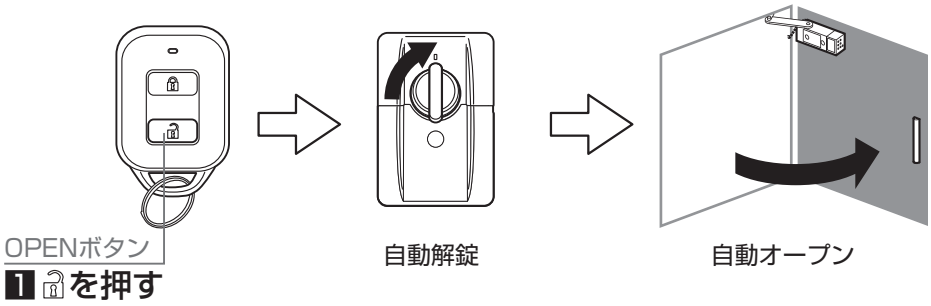


9-2 開閉動作の確認（リモコンによるフル電動）

1:リモコンの「OPEN」ボタンを押す

補 足

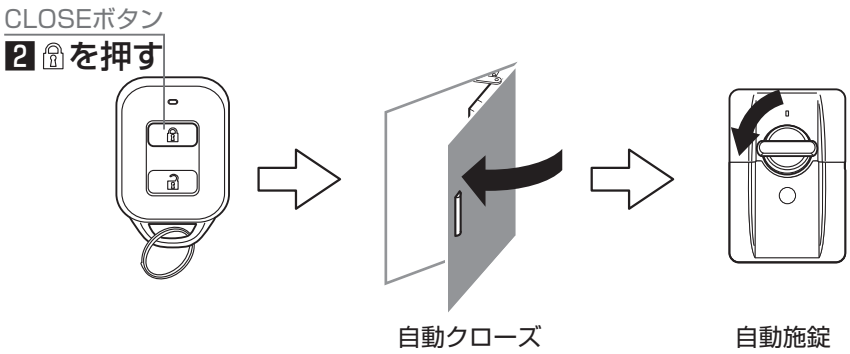
●電動サムターンが自動解錠して、玄関ドアが自動オープンすることを確認してください。



2:リモコンの「CLOSE」ボタンを押す

補 足

●玄関ドアが自動クローズして、電動サムターンが自動施錠することを確認してください。

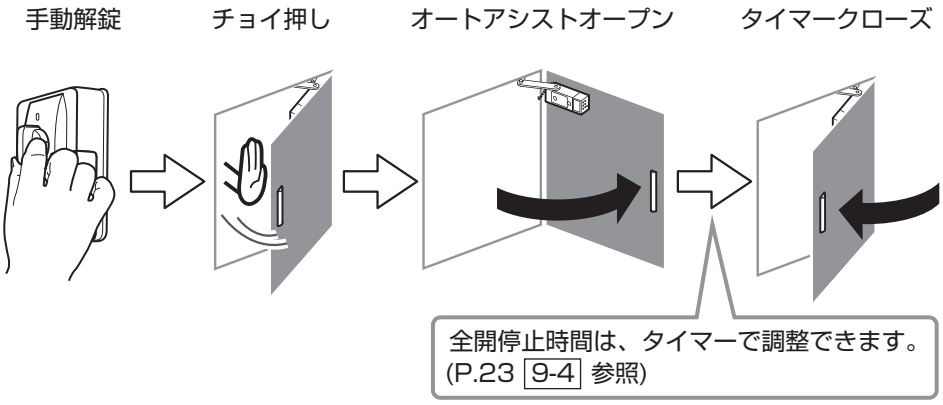


9-3 開閉動作の確認（チョイ押しによるオートアシスト）

1:手で電動サムターンを解錠してから玄関ドアを押して、電動ドアオープナーがオートアシストすることを確認

補 足

●オートアシストの場合は、タイマーで玄関ドアが閉まります。なお、自動施錠は行ないません。
●出荷時の全開停止タイマーは0秒に設定されています。



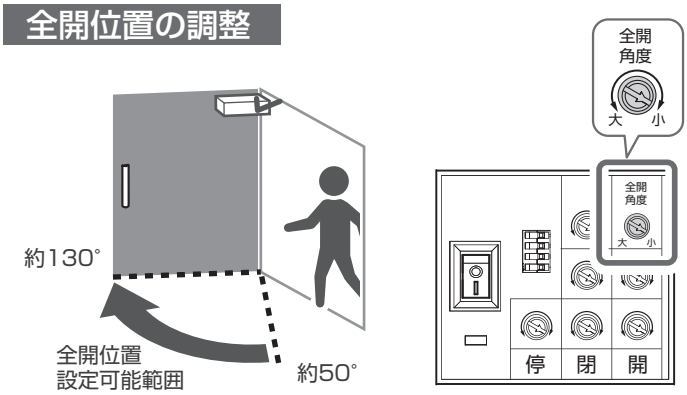
9 動作確認 ※本図は内観左吊を示します。右吊は左右対称です。

9-4 全開位置＆開閉速度の調整

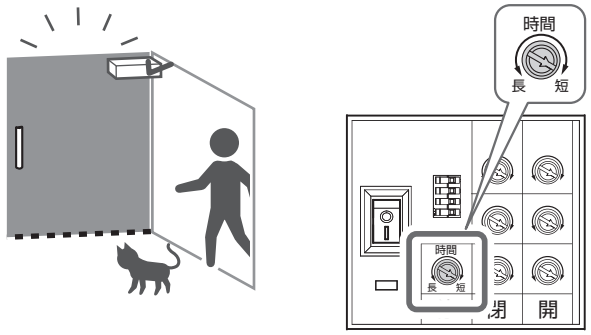
補　足

●使用環境を確認の上、必要に応じて全開位置や開閉速度等の設定を再調整してください。

全開位置の調整



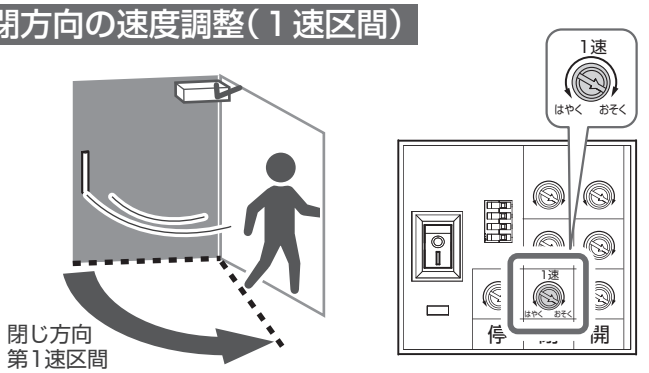
全開停止タイマーの調整(オートアシストのみ)



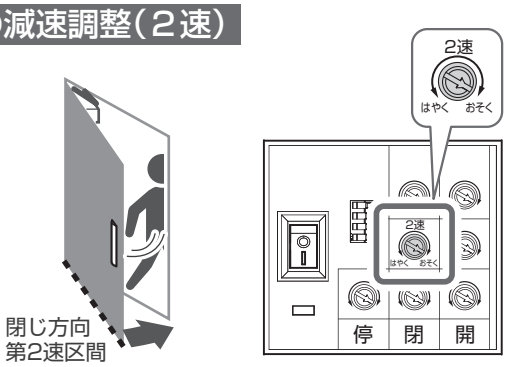
開方向の速度調整(１速区間)

開方向の減速調整(２速区間)

閉方向の速度調整(１速区間)



閉方向の減速調整(２速)



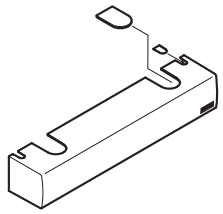
10 電動ドアオープナーカバーの取付け ※本図は内観左吊を示します。右吊は左右対称です。

1:電動ドアオープナーの取付穴にカバーの突起を圧入して取付け

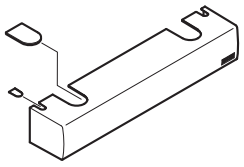
補　足

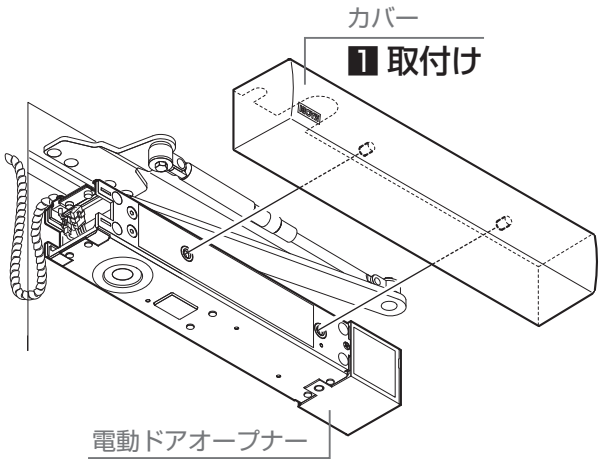
●玄関ドアの吊方向に合せて、本体カバーのシャフトカバーとゴムキャップを左右で付け替えてください。

▼内観左吊(出荷時)の場合▼



▼内観右吊の場合▼





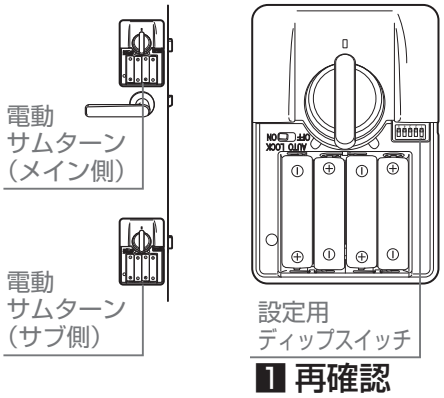
11 正常動作しない場合 正常に動作する場合は「12.電池カバーの取付け」に進んでください。

11-1 電動サムターンのディップスイッチを再確認する

1:電動サムターンの設定用ディップスイッチ位置を再確認

補 足

●設定用ディップスイッチの設定が誤っていると正常に動作しません。



	内観左吊	内観右吊
メイン側	5 4 3 2 1 ON	5 4 3 2 1 ON
サブ側	5 4 3 2 1 ON	5 4 3 2 1 ON

※サブ側の設定は2ロックの場合のみです。

11-2 電動ドアオープナーのリンクの長さを約２ｃｍ伸ばす

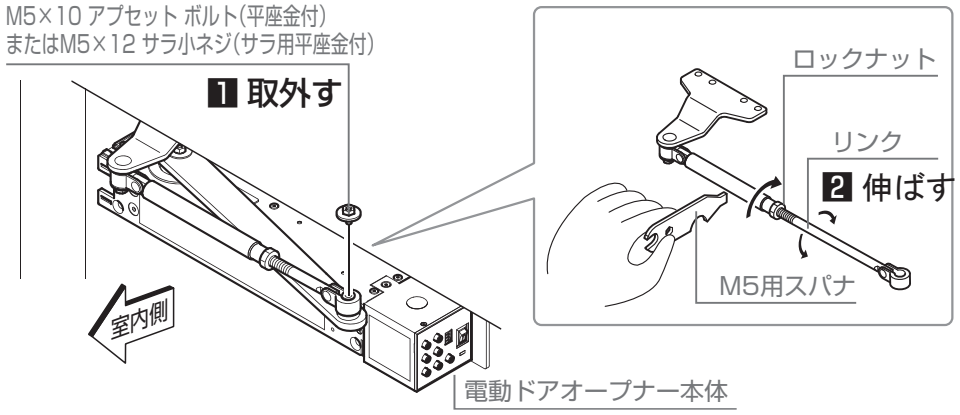
補 足

● 玄関ドアによってはリンクを伸ばす必要があります。正常動作しない場合には、リンクを伸ばして再度動作確認してください。

1:アームとリンクを接続しているM5×10 アプセットボルト（平座金付）を取外す。

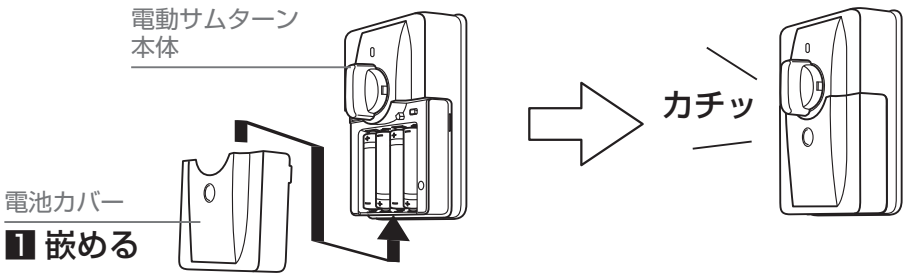
2:リンクのロックナットを緩めて、リンクを2cm程度伸ばしてから、再度ロックナットを締める。

3:アームとリンクをM5×10 アプセットボルト（平座金付）で再度接続する。



12 電池カバーの取付け

1:電池カバーを電動サムターン本体に嵌める



13 電池交換について

次の警告内容が発生したらすみやかに電池を交換してください。

	交換用電池	警告内容	ブザー音	LEDランプ
電動サムターン	リチウム乾電池（単3形）×4本	電池残量の低下	ピー・ピー・ピー	赤色点滅
リモコン	リチウムコイン電池（CR2025）×1個	電池残量の低下	なし	赤色点滅

取説コード
LAZ-600

202007A_1049
202100C_1049